

平成
29年度

大分県地域リハビリテーション

活動報告書

大分県リハビリテーション支援センター

独立行政法人 地域医療機能推進機構

湯布院病院

目 次

○ごあいさつ	1
○大分県における支援体制	
1. 大分県における地域リハビリテーション支援体制	2
・大分県リハビリテーション支援センター運営部運営規程	
2. 県下関係機関との連携	5
・三者会議運用規程、拡大運営会議運用規程、イメージ図	
○大分県リハビリテーション支援センター活動報告および地域リハビリテーション関連活動報告	
1. 平成 29 年度大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ	8
2. 平成 29 年度実施事業の詳細	9
3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告	14
4. おおいた食のリハビリテーション研究会活動報告	18
○大分県地域リハビリテーション広域支援センター活動報告	
・東部圏域 東国東地域	21
・東部圏域 別杵速見地域	23
・中部圏域 大分地域	24
・中部圏域 臼津地域	25
・南部圏域 佐伯地域	27
・豊肥圏域 大野地域	28
・豊肥圏域 竹田地域	29
・西部圏域 日田玖珠地域	30
・北部圏域 中津地域	32
・北部圏域 宇佐高田地域	33

○県内職能団体活動報告（五十音順）

・ 一般社団法人 大分県医療ソーシャルワーカー協会	35
・ 公益社団法人 大分県栄養士会	37
・ N P O 法人 大分県介護支援専門員協会	39
・ 一般社団法人 大分県介護福祉士会	41
・ 公益社団法人 大分県看護協会	43
・ 公益社団法人 大分県言語聴覚士会	45
・ 公益社団法人 大分県作業療法協会	47
・ 一般社団法人 大分県歯科医師会	49
・ 一般社団法人 大分県歯科衛生士会	51
・ 大分県視能訓練士会	53
・ 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	55
・ 大分県地域リハビリテーション研究会	56
・ 一般社団法人 大分県病院協会	58
・ 公益社団法人 大分県放射線技師会	60
・ 公益社団法人 大分県薬剤師会	62
・ 公益社団法人 大分県理学療法士協会	64
・ 公益社団法人 大分県臨床検査技師会	66
・ 公益社団法人 大分県臨床工学技士会	68
・ 大分県臨床心理士会	70

連絡先一覧

1. 県リハセンター、広域支援センター所在地・連絡先	72
2. 県内職能団体連絡先	73



ごあいさつ

大分県リハビリテーション支援センター長 根 橋 良 雄

大分県福祉保健部健康づくり支援課・高齢者福祉課、広域支援センター、各職能団体の皆様、平素より大分県リハビリテーション支援センター（県リハ支援センター）の活動にご理解・ご尽力いただき、誠に有難うございます。

平成 29 年度の県リハ支援センターの重点的活動は、大分県全域で地域リハビリテーション活動の進化を支援していくこと、地域包括ケアシステム構築への貢献、そして災害リハビリテーション支援活動の推進でありました。

地域リハビリテーション活動、地域包括ケアシステム構築に関しては、大分県下の様々な立場の方々が深い見識と大変な工夫と努力をされてきたことにより、全国的にみて最も先進的な活動をしている地域と認知されています。県リハ支援センターはそうした活動を進める一員として、今後も活動していく所存です。

災害リハビリテーション支援活動については、平成 28 年度に熊本地震に対応して、行政・職能団体・広域支援センターとの連携の下、大分 JRAT（大分災害リハビリテーション推進協議会）の立ち上げに関わり、南阿蘇村への支援を行うことができましたが、様々な課題が浮き彫りになっていました。そうした中で平成 29 年 5 月 29 日には、大分 JRAT と大分県との間で「災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定」を愛媛県に次ぎ全国で 2 番目に締結することができました。このことは派遣スタッフの立場の保証、費用支弁等の問題に大きく前進したといえます。そうした中、平成 29 年 7 月に九州北部豪雨が発生し、その災害に対して大分県からの要請に基づき、7 月 9 日から 7 月 18 日まで、大分県西部に支援チームを派遣いたしました。さらに県リハ支援センターでは、研修会を今後も積極的におこない、人材育成、技術向上、啓蒙啓発広報活動に注力していく方針であります。

おわりに、関係する行政、広域支援センター、職能団体をはじめ、関係する皆様の益々のご発展・ご活躍を祈念申し上げ、これからも県リハ支援センターの活動にご支援いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

J C H O湯布院病院
大分県リハビリテーション支援センター運営部
運 営 規 程

(目 的)

第1条 大分県リハビリテーション支援センター（以下 県リハセンター）は、大分県、広域支援センター、諸職能団体と緊密に連携をとりながら、障害のある人や高齢者、さらには県民一人一人が地域で安心して生き生きとした生活が送れるように、地域リハビリテーション活動の体制整備と充実を図ること、また、災害時のリハビリテーション支援体制づくりにも取り組むこと、を目的に設置する。

(組 織)

第2条 県リハセンター長（以下 センター長）は県リハセンターの事業全般を統括・指揮する。

2 県リハセンターの円滑な事業運営を図るために、県リハセンターに企画調整室、県リハセンター運営部（以下 運営部）を設置する。また、大分災害リハビリテーション推進協議会（以下 大分 J R A T）の事務局として大分 J R A T事務局を設置する。

3 地域の介護予防・日常生活支援総合事業に協力するため介護予防推進活動班を別に設け、県リハ事業と密接な連携を図る。

(企画調整室)

第3条 企画調整室は医局、看護部、リハビリテーション科、地域連携室、事務部からセンター長が指名する職員をもって構成し、事業計画の策定、事業内容の企画・調整、調査・研究等を担当する。計画の策定にあたっては、大分県、大分県地域リハビリテーション研究会、広域支援センター、必要に応じて関連する諸団体との連絡、連携を図る。

(運営部)

第4条 運営部はセンター長が指名する職員をもって構成し、企画調整室で策定された事業計画の実施にあたるほか、県リハセンターの窓口として、関係機関、団体との連絡、調整等を行う。また、県リハセンターの経理を担当する。

2 センター長は運営部に運営部長を任命し、運営部長は運営部を管理、運営する。

3 センター長は必要に応じ、運営部に副運営部長、運営部長補佐、センター事務長を任命できる。

4 運営部には会議を担当する会議企画班、研修会を担当する研修班、J R A Tの支援を行う災害リハビリ支援班、関係機関、団体との連絡、調整及び県リハセンターの経理を担当する庶務班を置く。

(大分 J R A T事務局)

第5条 大分 J R A T事務局は、災害リハビリテーションの教育、普及、啓発および災害リハビリテーションコーディネーターや支援チームの組織化、訓練、人材育成、D M A Tや J M A T等との連携、そして大分県および全国規模の災害時における直接的支援活動等の事務局業務を担う。

2 センター長は大分 J R A T事務局に事務局長を任命し、事務局長は大分 J R A T事務局を管理、運営する。

3 センター長は必要に応じ、大分 J R A T事務局に事務局長補佐を任命できる。

(協力部門)

第6条 センターに所属する医師、看護師、薬剤師、リハビリテーションセラピスト、医療福祉相談員、

管理栄養士、検査技師、臨床心理士、歯科衛生士、介護福祉士、事務員等は、センター事業の円滑な実施が図られるよう積極的な事業協力を行う。

(任期)

第7条 企画調整室、運営部、大分J R A T事務局職員の任期は原則として1年とする。ただし、任期満了の1ヵ月前までにセンター長もしくは職員から何らかの意思表示がないときは、任期を1年毎に延長するものとする。

(運営委員会)

第8条 県リハセンターの円滑な運営を図るため、運営委員会を置く。

- 2 運営委員会はセンター長、企画調整室、運営部で構成され、運営部長を議長とする。
- 3 運営部長不在時には副運営部長もしくは運営部長補佐が議長を代行する。
- 4 議長は原則として毎月1回定例の運営委員会を開催し、次の事項を審議する。
 - ア 事業計画、事業予算の検討、策定
 - イ 事業内容の検討、実施
 - ウ 研修計画の検討、実施
 - エ 関係機関、団体との連絡調整
 - オ 事業報告、事業決算
 - カ その他必要な事項
- 5 議長は必要に応じて臨時に運営委員会を開催できるものとする。
- 6 議長は必要に応じて運営委員会に、協力部門等に所属する職員の出席を要請し、意見を聞くことができるものとする。

(三者会議)

第9条 県下における地域リハビリテーション支援体制事業を、大分県・県リハセンターおよび広域支援センターの三者が協調し地域の実情を踏まえバランス良く展開するための協議機関として大分県・県リハセンター・広域支援センター合同会議（略称：三者会議）を設置する。

- 2 会議の構成は以下の通りとする。
 - 1) 大分県健康づくり支援課：代表者若干名
 - 2) 県リハセンター：センター長、運営部長、事務長、企画調整室、運営部員
 - 3) 広域支援センター：各センター代表者1名（希望があれば同伴者2名以内可能とする）
- 3 会議の開催は原則年2回とする。
- 4 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター長が務め、副議長は県リハセンター運営部長が務める。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長不在時はその職務を代行する。

(拡大運営会議)

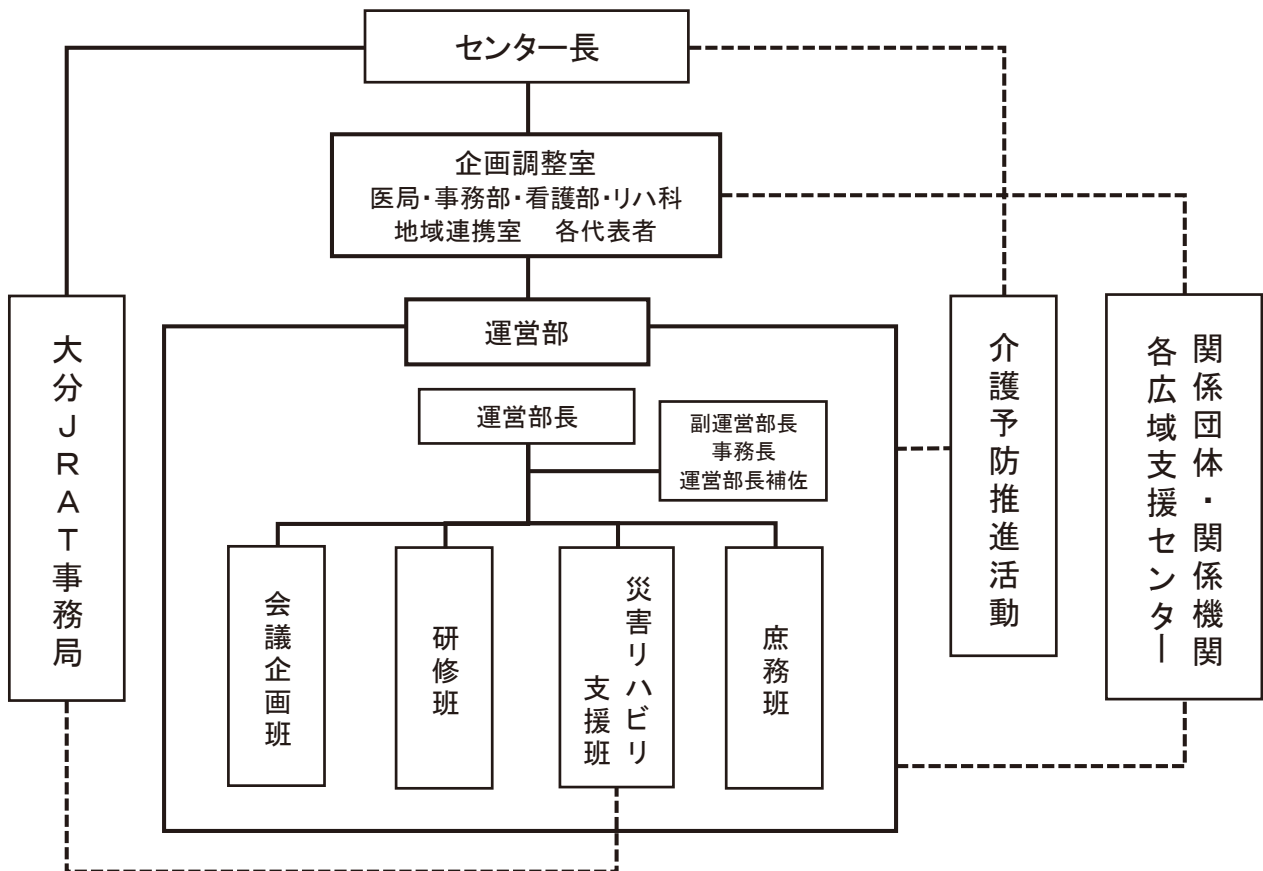
第10条 県リハセンターの事業立案に向けた情報収集、並びに事業の円滑な運営に向け、県内の保健・医療・福祉分野における専門職能団体間の緊密な協力と調整を図ることを目的に、県リハセンター拡大運営会議（略称：拡大運営会議）を設置する。

- 2 会議の構成は以下の通りとする。
 - 1) 大分県健康づくり支援課：代表者若干名
 - 2) 県リハセンター：センター長、運営部長、事務長、企画調整室、運営部員

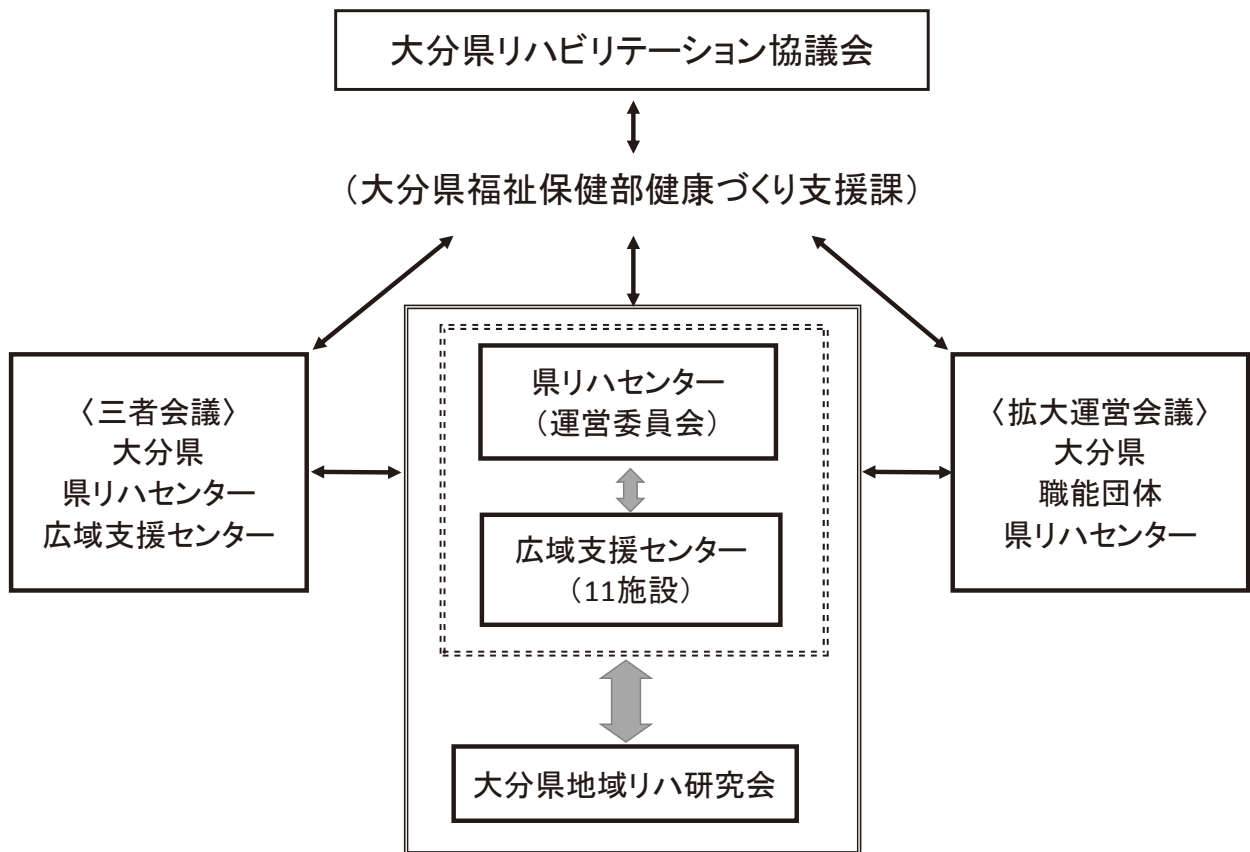
- 3) 必要と認める各種団体の代表者（各種団体については別に定める）。
- 3 会議の開催は原則年1回とする。
- 4 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター長が務め、副議長は県リハセンター運営部長が務める。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長不在時はその職務を代行する。

- 附 則 この運営規程は平成15年4月1日から施行する。
- 附 則 この運営規程は平成15年6月4日改訂し施行する。
- 附 則 この運営規程は平成15年11月12日改訂し施行する。
- 附 則 この運営規程は平成26年4月1日に病院経営母体の移行に伴う名称の変更を行なう。
- 附 則 この運営規程は平成28年4月1日より大分県リハビリテーション支援センター業務の委託料一元化にともない、三者会議の位置づけの変更を行う。
- 附 則 この運営規程は平成30年2月27日大分県リハビリテーション協議会にて承認され4月1日改訂し施行する。

大分県リハビリテーション支援センター 組織図



三者会議・拡大運営会議の位置づけ



広域支援センター（11施設） (平成30年4月1日現在)

国東市民病院
 別府リハビリテーションセンター
 井野辺病院
 大分リハビリテーション病院
 臼杵市医師会立コスモス病院
 長門記念病院
 帰巖会みえ病院
 大久保病院
 済生会日田病院
 川鳶整形外科病院
 佐藤第一病院

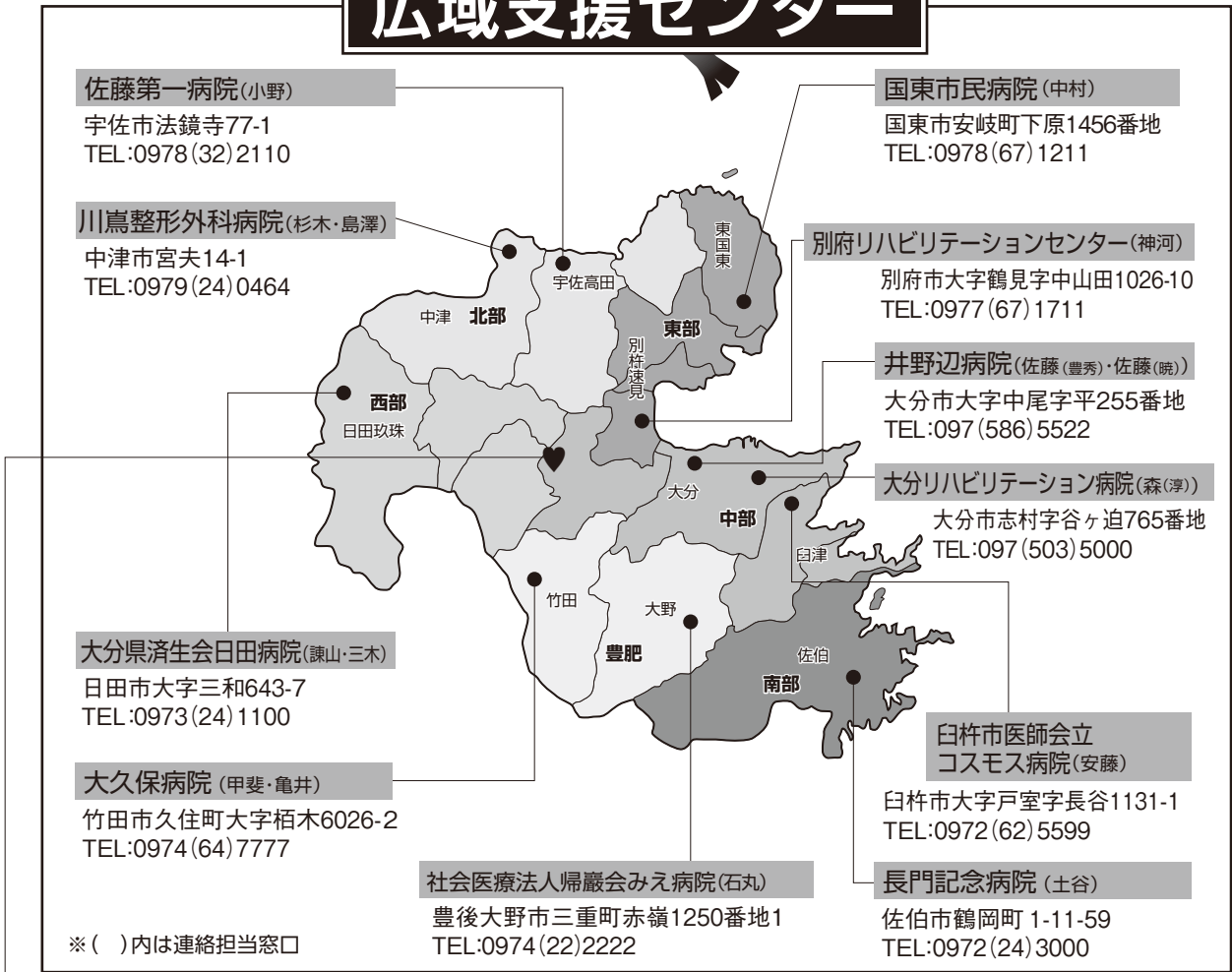
県リハセンター拡大運営会議 参加団体（20）名簿（平成30年4月1日現在）

大分県医療ソーシャルワーカー協会
 大分県栄養士会
 大分県介護支援専門員協会
 大分県介護福祉士会
 大分県看護協会
 大分県言語聴覚士協会
 大分県作業療法協会
 大分県歯科医師会
 大分県歯科衛生士会
 大分県視能訓練士会
 大分県地域包括・総合相談・
 在宅介護支援センター協議会
 大分県地域リハビリテーション医師懇話会
 大分県地域リハビリテーション研究会
 大分県病院協会
 大分県放射線技師会
 大分県薬剤師会
 大分県理学療法士協会
 大分県臨床検査技師会
 大分県臨床工学技士会
 大分県臨床心理士会

五十音順



広域支援センター



H 30 年度～

JCHO 湯布院病院 <http://yufuin.jcho.go.jp>

大分県リハビリテーション支援センター運営部 (會川・神田・日高・佐藤(友))

〒879-5193 大分県由布市湯布院町川南252

H30.4月現在

TEL : 0977(84)3171 (代表) FAX : 0977(85)5880

大分県リハビリテーション支援センター活動報告 および地域リハビリテーション関連活動報告

<記載項目>

1. 平成 29 年度大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ
2. 平成 29 年度実施事業の詳細
3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告
4. おおいた食のリハビリテーション研究活動報告

1. 平成 29 年度 大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ

1. 由布保健部圏域介護予防検討会
平成 29 年 12 月 21 日（木） OT 佐藤（友）
2. 由布地域包括ケア推進協議会
センター長、事務部長、ST 木村、OT 佐藤（友）、PT 西ノ園（龍）、MSW 割石 出席者 6 名
3. 由布地域包括ケア推進協議会研修会
「在宅で気をつける薬剤管理」
平成 29 年 7 月 14 日（金） 講師：薬剤師長谷川
4. すこやか健康サロン
2 地区 計 11 回実施 講師派遣延べ 15 名
5. 由布市 健康応援団派遣事業
32 地区 計 42 回 講師派遣延べ 48 名
6. 竹田地域包括ケアシステム研修会
平成 29 年 12 月 14 日（木） OT 佐藤（友）
7. 由布市サービス事業所研修会
平成 28 年度専門職派遣事業実践報告会
日時：平成 29 年 9 月 7 日（水） 報告者：PT 佐藤（周）、OT 大田（繁）
8. 由布市ヘルスアップリーダー養成講座
9/20（水）、10/ 4（水）、11/14（火）講座回数 計 6 回（終了試験含む）
講師：延べ 6 名
9. 大分県地域リハビリテーション研究会運営部会 19：30～大分市井野辺病院
6/27（火）、8/22（火）、10/ 2（月）、12/11（月）、平成 30. 3/12（月）
（神田、會川、西ノ園（龍））
10. 第 19 回福祉研修会
平成 29 年 11 月 26 日（日） 講師：OT 佐藤（友）
11. 大分県地域リハビリテーション研究会 第 29 回役員会
平成 29 年 6 月 5 日（月） （センター長）
12. 平成 29 年度大分県回復期リハビリテーション病棟連絡協議会理事会
平成 29 年 7 月 7 日（金）、平成 30 年 2 月 3 日（土） （センター長）
13. 平成 29 年度大分県リハビリテーション協議会
平成 30 年 2 月 27 日（火） 大分県庁別館 84 会議室 （センター長、會川）
14. 平成 29 年度大分県高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会
平成 30 年 3 月 1 日（木） （センター長）
15. 全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会ブロック大会 in 大分
平成 30 年 2 月 23 日（金） 前夜祭 24 日（土） 明日香美容学院
（センター長、神田、會川、日高、佐藤（友）、河野）

2. 平成 29 年度実施事業の詳細

(1) 第 28 回三者会議

日 時：平成 29 年 4 月 24 日（月）

場 所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 3 階 研修室

出席者：県健康づくり支援課より藤内修二課長、藤本紀代美参事、島川雄司主幹
県高齢者福祉課より一丸淳司参事、高茂大介主幹、阿部幸平主事
広域支援センター代表者

主な議題：県リハセンター並びに広域支援センターの H28 年度活動報告
県の進める健康増進計画と地域包括ケア推進について
県リハセンター並びに広域支援センターの H29 年度活動計画

(2) 第 15 回拡大運営会議

日 時：平成 29 年 5 月 30 日（火）

場 所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 3F 研修室

出席者：県健康づくり支援課より藤内課長、藤本紀代美参事
県高齢者福祉課より佐藤参事、阿部主事
関係団体代表者

主な議題：H28 年度県リハセンター並びに広域支援センターの事業報告
H29 年度県リハセンター並びに広域支援センター事業計画
県の進める健康増進計画と地域包括ケア推進について
地域リハ活動の普及に向けた各職能団体の取り組み等の報告及び提出議題の検討

(3) 第 14 回合同研修会（大分県地域リハビリテーション研究会共催）

日 時：平成 29 年 7 月 9 日（日）

場 所：別府ビーコンプラザ 3 階 国際会議場

内 容：

1. 報告①「平成 28 年度地域リハビリテーション活動報告と平成 29 年度の事業計画」

報告者：大分県リハビリテーション支援センター運営部 佐藤友美

2. 報告②「平成 29 年度大分県からの事業説明」

報告者：大分県高齢者福祉課 阿部幸平氏

3. 講演「介護保険制度改正から見る施策の方向性

～これからの地域リハビリテーションに期待すること～

講 師：厚生労働省・老健局 課長補佐 石井義恭氏

4. シンポジウム

テーマ「地域ぐるみで地域包括ケアを構築する－事業の立ち上げ、連携、実践の工夫」

シンポジスト：

①臼杵市医師会立コスモス病院 副院長 舩友一洋氏

②竹田市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 本田直美氏

③大分県高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 主事 阿部幸平氏
アドバイザー：厚生労働省・老健局 課長補佐 石井義恭氏
参加者数：213名



(4) 第29回三者会議

日 時：平成29年10月17日（火）
場 所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 研修室
出席者：県健康づくり支援課より藤本参事、島川主幹
県高齢者福祉課より一丸参事、高茂主幹、阿部主事
広域支援センター代表者
主な議題：今年度事業の進捗状況報告
県からの報告・協議事項について

(5) 大分地域リハビリテーション・ケア研究大会（県リハセンター共催）

日 時：平成30年1月21日（日）
場 所：別府ビーコンプラザ 3階 国際会議場
参加数：142名
内 容：テーマ「災害と地域連携」
基調講演：「人生とは～東日本大震災の現場から学ぶ命の尊さ～」
講 師：高橋 英悟（たかはし えいご）氏（曹洞宗 吉祥寺 住職）
司 会：大分県地域リハ研究会 会長 武居光雄
シンポジウム：テーマ「災害と地域連携～九州北部豪雨を経験して～」
シンポジスト：
① 「大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）の発足と活動」
會川 裕子 大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）
（大分県リハビリテーション支援センター）
② 「日田市災害支援時の歯科衛生士の活動」
三ノ宮美紀氏（一社）大分県歯科衛生士会
③ 「地元への引き継ぎを意識した災害時の医療コーディネート」
池邊 淑子氏 大分県西部保健所 所長

(6) 平成 29 年度地域リハ実践者研修

日 時：平成 29 年 11 月 25 日（土）

場 所：ホルトホール大分 セミナールーム L

テーマ 「連携のプロに学ぶ多職種コミュニケーションのいろは
～地域包括ケアに役立つコミュニケーションスキルの向上～」

内 容：講演「コミュニケーションの Tips」

講 師：鹿島建設株式会社 開発事業本部 公民連携マネジメント部
担当部長 吉田 岳氏

対 象：地域リハビリテーションに関わる多職種

講演で学んだマニュアルにはないコミュニケーションにおける秘訣を活かし、実際にコミュニケーションの疑似体験をする目的でロールプレイを実施。

ロールプレイ：模擬担当者会議をやってみよう！様々な職種になりきることで立場を対体験する

受講者数：27 名

(7) 第 9 回 実務者会議

日 時：平成 29 年 12 月 12 日（火）

場 所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 研修室

出席者：県健康づくり支援課より島川主幹

県高齢者福祉課より高茂主幹、阿部主事

広域支援センターの実務者

主な議題：平成 30 年度県の事業計画（案）

県リハセンターの事業（年間計画案・予算案）

広域支援センターの活動計画案・予算案

災害リハビリテーション推進協議会の活動 / 避難所運営ゲーム HUG



机上での運営の様子



クロノロジー体験

会議の後、実習として「避難所運営ゲーム HUG」を実施。県庁職員、広域支援センターの実務者、県リハスタッフが一緒にチームを組んで避難所を運営していく体験をした。次々と訪れるイベントに対し緊迫しながらも徐々にお互いが協力し、チーム力も高まった。次年度の各圏域での研修希望もあり好評であった。

(8) 大分災害リハビリテーション推進協議会の活動

①大分 JRAT 災害リハビリテーション支援（ベーシック）研修会

日 時：平成 29 年 9 月 30 日（土） 13：30～16：45（受付 13 時～）

場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス 大会議室

講演 1：「JRAT の概要と災害リハビリテーションの基礎知識」

講 師：日隈 武治氏

大分 JRAT 災害リハコーディネーター / 大分県作業療法協会 副会長

講演 2：「災害リハビリテーション支援と受援をどう実践するか」

講 師：近藤 国嗣氏

JRAT 副代表 / 東京湾岸リハビリテーション病院 院長

実 技：避難所で役立つ防災グッズを作ってみよう！

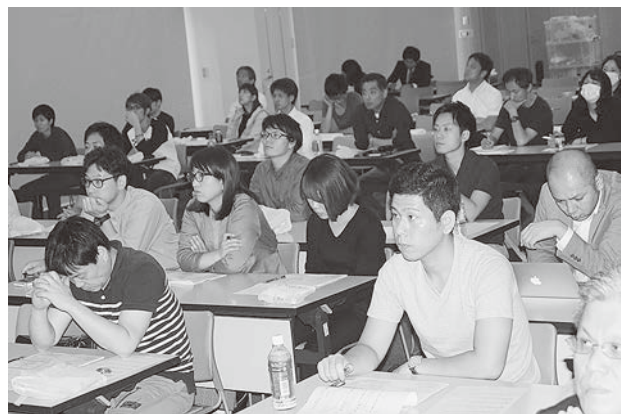
～チームでの行動力・臨機応変な対応力を磨く～

ロールプレイ：ミッション「避難所へ裸足できた被災者にくつを作る！」

会場に準備した物品を駆使して時間内に作り上げる。終了後、全員で共有各グループで初めて会ったメンバーとのチーム力を競った

対象者：災害時のリハビリテーション支援に関する関係職種

受講者：72 名



②大分 JRAT 災害リハビリテーション支援（ロジステック）研修会

日 時：平成 30 年 2 月 17 日（土） 13：30～16：30（受付 13 時～）

場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス 大会議室

講演 1：「平成 28 年熊本地震における熊本 JRAT の受援体制とその心得」

講 師：三宮 克彦 氏

熊本機能病院 総合リハビリテーション部 理学療法課 課長

実 技：避難所運営ゲーム HUG 講師の三宮氏もアドバイザーとして参加

対象者：災害時のリハビリテーション支援に関する関係職種 受講者：40 名



3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告

平成 28 年に設立した大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）は、平成 29 年 5 月に大分県との災害時の協定を結び、県内で災害発生時、知事要請を受けて活動できる体制が整った。その矢先の 7 月に九州北部豪雨災害が発災し、県内で初となる災害リハビリテーション支援活動を実施した。実際の活動を行ったことで、課題が浮き彫りになり、その対策として、大分 JRAT マニュアル委員会を立ち上げ、マニュアル作成を行った。また、様々な研修等での講師依頼や他の災害医療チームとの連携を深める機会を得ることができた。

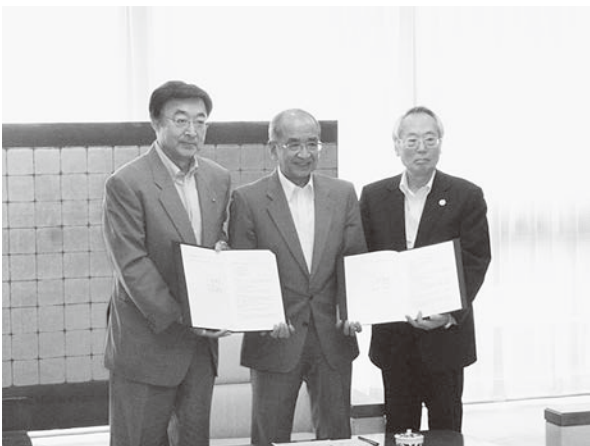
支援活動員の研鑽、災害リハの普及啓発については、災害リハ研修会を 2 回実施した。災害医療の概要に加え、チーム力や課題対応力を磨く実技演習を企画し、リハ関係職種をつなぐ場にもなった。

本項では、平成 29 年度の実績と来年度の事業計画について報告する。

【大分県との災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定締結】

目的：災害時における被災者への医療救護をリハビリテーションの観点から行う

日時：平成 29 年 5 月 29 日（月） 場所：大分県庁



当日は、歯科医師会と共に締結式を取り行った。
これにより、大分県内での災害発災時、リハビリテーションが必要と判断された場合は県知事要請による活動が可能となった。

【日田市での支援活動】

7 月 5 日 九州北部豪雨発災。

避難所が開設され、避難が長期化する恐れありと、大分県より情報があり、待機とする。
道路状況不良で、安全性の確保を優先することと、本部 JRAT からの指示を受ける

7 月 9 日 午前 8 時 50 分 大分県知事より、災害リハ支援活動の要請を受ける

午前 9 時 先遣隊として OT 日隈（大分県作業療法協会）、PT 高橋（大分県理学療法士協会）、OT 大田（湯布院病院）の 3 名が日田市を視察し、状況把握を行う。

* 避難所アセスメント概要 *

医療本部運営状況、指定避難所数、避難者の概算、被害状況、
インフラ（活動する上での安全性）、医療チーム派遣状況等

午後 4 時半 湯布院病院にて対策会議

翌日以降の活動支援員のマッチング、派遣者募集依頼等の事務局作業開始

7月10日～17日 支援活動実施。本部運営は湯布院病院内にてロジスティック2名にて実施。

【派遣実績】

8施設（湯布院病院、大分リハビリテーション病院、井野辺病院、別府リハビリテーションセンター、諏訪の杜病院、一の宮脳神経外科病院、清流荘、デイサービスセンター）

職種別内訳：医師2名 作業療法士15名 理学療法士15名 言語聴覚士2名
歯科衛生士1名

派遣累計：のべ57名

活動場所：指定避難所6施設

活動内容：1) 避難所アセスメントと環境調整（福祉用具の調整含む）
2) 要配慮者のアセスメントと対応の検討
3) 生活不活発病、エコノミークラス症候群、熱中症、肺炎予防（口腔ケア）の普及啓発
4) 運動機会の提供（住民ボランティアである健康運動リーダーと連携）

7月18日 下記3点を受け保健所長の判断にて大分JRATは活動終了

- 1) 避難者数の減少
- 2) 要配慮者への対応を保健師に引き継ぎ完了
- 3) 運動機会は健康運動リーダーへの引き継ぎ完了



集団での体操を各避難所にて行うことを企画・実行し、住民ボランティアへ引き継いだ。



慣れない避難所の環境で、安全に過ごすことができるよう、動作の評価とアドバイス等を行った。

【大分JRAT事務局活動】

1. 災害リハコーディネーターとの事務局会議

日時：平成29年4月10日（月） 場所：JCHO 湯布院病院

内容：平成29年度の研修企画 等

2. 大分JRAT緊急世話人会

日時：平成29年7月18日（火） 場所：井野辺病院

内容：九州北部豪雨災害の活動状況の共有 課題の整理

3. 官民連携による災害対策ネットワーク会議への出席

日時：平成29年7月27日（木） 場所：大分県庁

内容：九州北部豪雨での避難者支援についての意見交換

4. 大分 JRAT 世話人会

日時：平成 29 年 9 月 30 日（土） 場所：大分県男女消費生活共同参画プラザ アイネス

平成 30 年 2 月 17 日（土） 場所：大分県男女消費生活共同参画プラザ アイネス

内容：大分 JRAT 組織運営、ならびに災害リハ研修の検討等

5. 平成 29 年度 JRAT 九州ブロック会議 場所：長崎リハビリテーション病院

日時：平成 30 年 3 月 2 日（金）

内容：九州各県の組織化及び活動状況の報告、今後の JRAT の方針の共有

6. 大分 JRAT 活動員名簿登録の開始

【大分 JRAT マニュアル作成委員会】

目 的：大分 JRAT における災害リハ支援活動の活動指針と、活動時に使用する共通資料等を作成する

メンバー：18 名（委員長：井野辺純一） 委嘱状交付

会議日時：平成 29 年 12 月 1 日（金） 場所：井野辺病院

平成 30 年 1 月 26 日（金） 場所：井野辺病院

内 容：マニュアル作成に向けた意見交換と役割分担

実 績：平成 30 年 3 月 31 日 マニュアル完成



【研修講師等の実績】

1. 平成 28 年熊本地震 JRAT 活動検証・研修会

日 時：平成 29 年 8 月 5 日（土） 場所：熊本県立劇場

演 題：緊急報告 平成 29 年九州北部豪雨災害における大分 JRAT の活動報告

演 者：佐藤友美

2. 熊本県理学療法士会 福祉研修会

日 時：平成 29 年 11 月 26 日（日） 場所：熊本保健科学大学

演 題：平成 29 年九州北部豪雨災害における大分 JRAT の活動報告

演 者：佐藤友美

3. 第 3 回千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（C-RAT）研修会

日 時：平成 30 年 1 月 20 日（土） 場所：千葉県教育会館

演 題：九州北部豪雨災害における大分 JRAT の活動
～平時の地域リハビリテーション活動と災害支援

演 者：會川裕子

4. 第7回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

日 時：平成30年1月21日（日）

テーマ：災害と地域医療

シンポジスト：會川裕子

5. 九州作業療法士長会 リーダー研修会

日 時：平成30年2月11日 12日（日・月） 場所：医療福祉専門学校緑生館

テーマ：災害リハビリテーション支援活動の経験から～自分事として 今日から備えを！～

演 者：佐藤友美

6. 第45回大分救急医学会

日 時：平成30年3月10日（土） 場所：アルメイダ病院

内 容：南海トラフ地震を想定した災害ワークショップへの参加

出席者：佐藤友美 會川裕子

【平成30年度事業計画】

1. 災害リハビリテーションの教育・普及・啓発

- ・災害リハビリテーションに関する研修の実施（年1回）
- ・地域住民への災害リハセミナー開催（由布市：4回）
- ・広域支援センターでの災害リハ研修会の後方支援

2. 災害対応のための組織化

- ・災害リハ支援チームメンバー登録の推進
- ・大分県における防災訓練への参加協力等（大分 DMAT との連携）
- ・JRAT 本部、九州各県の JRAT との連携（九州ブロック会議：平成30年度 担当県）
- ・県内関係団体との連絡調整

3. 直接支援活動

4. おおいた食のリハビリテーション研究会 活動報告

本研究会は平成18年12月3日に発足し、平成30年6月現在での会員数は232名である。主な活動は年に2回の研修会と大分県社会福祉介護研修センターとの共催で実施している摂食・嚥下セミナーがある。また、おおいた食リハニュースを年数回発行している。

<平成29年度活動報告>

おおいた食のリハビリテーション研究会 総会・第21回研修会

日 時：平成29年7月16日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

9：00～受付

9：30～総会

9：50～指定発言 社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院

リハビリテーション部 部長 森 淳一氏

10：30～症例報告・グループワーク

①JCHO湯布院病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 山本 周平氏

②社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院 リハビリテーション部

言語聴覚士 谷脇 志織氏

12：30 終了

第11回摂食・嚥下セミナー（共催 大分県社会福祉介護研修センター）

目 的：人間の活力の源である「食事」は、おいしく口から食べるという楽しさだけではなく、脳を刺激し生きる喜びにも繋がります。しかし、病院や施設、在宅では「食」に関する何らかの問題を抱えている方は数多く、多職種協働のケアにおいては大きな課題となっています。そこで、摂食・嚥下機能の専門家による知識と技術を学んでいただき、チームとして質の高い支援を提供できる人材を育成するために開催しています。

日 時：1日目 6月23日（金） 開講式、嚥下障害への対応と支援、摂食嚥下障害患者の支援

2日目 7月5日（水） 摂食嚥下障害概説、摂食嚥下障害の支援

3日目 7月13日（木） 摂食嚥下障害の評価、経口摂取確立のための姿勢・摂食へのアシスト

4日目 7月27日（木） 摂食嚥下リハ（間接・直接訓練）、口腔について

5日目 8月9日（水） 調理実習、食べる喜びを支援する食事の介助

6日目 9月13日（水） 認知症・高次脳機能障害者への食事支援、摂食・嚥下リハビリテーションⅡ

7日目 9月28日（木） 事例検討・事例報告・受講経験者からの報告・終了式

対象者：介護福祉士、ホームヘルパー、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士、歯科衛生士、調理員等

会 場：大分県社会福祉介護研修センター 小ホール

共 催：大分県社会福祉介護研修センター、おおいた食のリハビリテーション研究会

おおいた食のリハビリテーション研究会 第22回研修会
 ～できていますか？栄養評価、大丈夫ですか？その姿勢～

日 時：平成30年3月18日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

9：00～受付

9：30～講演①「現場で役立つポジショニング・シーティングの豆知識」

社会医療法人恵愛会 大分中村病院リハビリテーション部
 理学療法士 梅野裕昭氏、作業療法士 浅倉秀剛氏

11：00～講演②「栄養的視点からのチームアプローチ」

社会医療法人敬和会 大分豊寿園 管理栄養士 吉良明代氏

11：40～嚥下関連食品企業からのプレゼンテーション

12：30 終了



第11回摂食嚥下セミナーの様子



第22回研修会の様子

広報誌「おおいた食リハニュース」発行

○第34号 平成29年10月23日発行

特集：①サルコペニア

②第21回研修会の報告

お知らせ：ホームページのご案内



大分県地域リハビリテーション 広域支援センター活動報告

<記載項目>

- ①圏域の特徴・平成 29 年度目標
- ②研修テーマ
- ③広域主催の主な研修内容
- ④地域での連携状況
- ⑤圏域での災害支援の協力体制について
- ⑥今後の課題

東部圏域 東国東地域



センター長
稲井 眞 二



担当窓口
中村 晋 也



【圏域の特徴・平成 29 年度目標】

広域型地域包括ケアの構築を目指す。

【広域主催の主な研修内容】

29 年 6 月 3 日：「地域包括ケアシステムのこれから」

～地域包括ケアシステムは、地域づくり、まちづくり～

講演者：広島県公立みつぎ総合病院特別顧問

全国国民健康保険診療施設協議会顧問

医学博士 山口 昇 先生

29 年 6 月 8 日：CKD（慢性腎臓病）にどう立ち向かうか～重症化予防から在宅医療まで～

講師：別府医療センター 腎臓内科 医長 菊池 秀年 先生

29 年 9 月 7 日：脳血管障害による頭痛を見逃さないために

～国際頭痛分類第 3 版 beta 版に基づいて～

講師：大分大学医学部看護学科 実践看護学講座

教授 井上 亮 先生

30 年 3 月 1 日：①糖尿病の合併症

講師：国東市民病院 内科部長 寄野 浩 先生

②口腔と全身疾患の関わり：何故、健康維持に口腔ケアが必要なのか？

講師：大分大学医学部付属病院 歯科口腔外科教授 河野 憲司 先生

※共催の開催・その他の研修会としては

市民公開講座、医師会講演会、私の里ネットワーク講演会、等開催

【市民公開講演会】

●日時：平成 29 年 10 月 7 日（土）

糖尿病にならないために、なってしまったら

～生活習慣を変えて立ち向かおう～

場所：アストくにさき アストホール

講師：医療法人社団ライフスタイルともながクリニック

糖尿病・生活習慣病センター 院長 朝長 修 先生

●日時：平成 29 年 12 月 16 日（土）

健康寿命日本一を目指して

～今日からできるロコモ対策～

場所：アストくにさき アストホール

講師：大分大学理事・副学長

大分大学医学部整形外科学講座教授 津村 弘 先生

●日時：平成 30 年 2 月 3 日（土）

認知症予防の秘訣

場所：アストくにさき アストホール

講師：大分大学医学部神経内科 准教授 木村 成志 先生

【地域での連携状況】

相談：「摂食嚥下・口腔ケア・介護・障害関係・歯科医療・その他」、随時対応中

共同利用：研修会・勉強会等にて随時利用

その他として医療実習（医師、コメディカル、救急救命）・体験学習 等

講師派遣：出前講座を随時開催中（32 回開催）

保健所難病医療相談会への対応

「日常生活上の工夫と自宅でできるリハビリについて」

会議：ホットネット会議・月 1 回、事前会議・月 1 回

国東市在宅医療・介護連携推進運営会議および作業部会議への参加

その他、各審査会への参加・糖尿病（若葉の会）への取り組み 等

【今後の課題】

摂食嚥下機能支援の普及・啓発

入院時～退院後支援のフロー、カンファレンスシート（中間・退院前・退院後）を国東市の中に浸透させていく。

東部圏域 別杵速見地域



センター長
長 岡 博 志



担当窓口
神 河 宏 明



【圏域の特徴・平成 29 年度目標】

高次脳機能障がい支援拠点機関であり、生産年齢者に対して、回復期リハ後、途切れのないリハビリ提供機関として、障害者支援施設がある。

専門外来（摂食嚥下・装具・高次脳）を実施。

【研修テーマ】

身体障害者で最も多くを占める脳血管障害後の復職率は内外においても古今においても約 30%と変わらない。医療・福祉・介護従事者としては、復職、就労はどうだろうかと思っても、ハードルが高く、時間がかかるため、踏み込んだ支援ができていないのが現状である。今回、脳血管障害者の就労支援について理解し、介護以外の地域リハビリテーションの視点を深めることを目的とする。

【広域主催の主な研修内容】

実施日：平成 29 年 9 月 8 日

研修内容：中途障害者の就労支援とリハビリテーション

講師：産業医科大学 医学部リハビリテーション講座 佐伯 覚教授

対象：大分県内に勤務する医療・福祉・介護・学校関係者等

受講者数：91 名

【地域での連携状況】

地域ケア会議

別府市自立支援型サービス支援事業

共催研修会（後援）

大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会（2 回）

施設利用

P T 協会、回復期リハ協会栄養士委員会、三洋ビル管理研修会

大分県回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 セラピスト研修会

NPO 法人キッズスポッチャ（1 回）

J A 大分信連研修会

【圏域での災害支援の協力体制】

毎月 1 回、防災訓練を実施。支援体制を整備している

【今後の課題】

地域包括支援センター、居宅支援事業所との連携

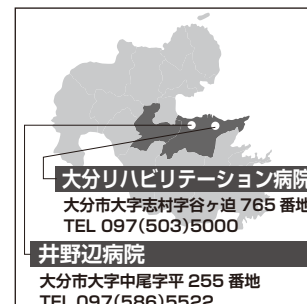
中部圏域 大分地域

大分リハビリテーション病院

センター長 山口 豊
 担当窓口 森 淳一
 担当窓口 遠山 文子
 担当窓口 田島 景介

井野辺病院

センター長 井野邊純一
 担当窓口 佐藤 豊秀
 担当窓口 佐藤 暁
 担当窓口 岸本 周作
 担当窓口 後藤 直哉



【圏域の特徴・平成 29 年度目標】

・研修会の企画運営、講師の派遣

【研修テーマ】

医療及び地域リハビリテーションの従事者が、最新の医療及びリハビリテーションの知識を得ることで、臨床現場への導入、新たな地域リハビリテーション体制を構築する発想の一助となることを留意する。

【広域主催の主な研修内容】

内 容：講義「Neurology における音楽療法」

講師 佐藤 正之 先生（三重大学医学部附属病院 認知症センター）

日 時：2017 年 5 月 12 日（金曜日） 19：00～20：30

受講者数：166 名

【地域での連携状況】

講師派遣

年月日	内 容	講師等
2017/6/5	倉掛地区サロン	渡邊亜紀、鴨川孝介、河野銀次
6/6	摂食嚥下セミナー「摂食嚥下のメカニズム」	森淳一
7/20	杵河内公民館	渡邊亜紀、鴨川孝介
8/4	口腔ケア・リハについて	森淳一、衛藤恵美
8/8	下鶴崎サロン	鴨川孝介、河野銀次
8/19	大分市パワーアップ教室	佐藤暁
8/20	講義「摂食・嚥下機能療法の基本技術とリスク管理について」	森淳一
8/30	大分市パワーアップ教室	佐藤暁
9/2	常行公民館「健康教室」	鴨川孝介、河野銀次
9/28	摂食・嚥下セミナー「事例検討会」	森淳一
10/11	敷戸北町老人会「健康教室」	佐藤暁
10/25	敷戸北町老人会「健康教室」	佐藤暁
11/21	深河内老人会「健康教室」	佐藤暁
11/27	国分老人会「健康教室」	河津美紀
2018/1/31	城南団地地区「健康教室」	河津美紀
2/10	寒田老人会「健康教室」	河津美紀
2/16	城南団地地区「健康教室」	佐藤暁
3/6	城南団地地区「健康教室」	松村絹代
3/7	永興地区「健康教室」	佐藤暁

【圏域での災害支援の協力体制】

JRAT・ORAT への参画

【今後の課題】

適宜、実務者会議を開催すること

中部圏域 白津地域



センター長
下田 勝 広



担当窓口
安 藤 真 次



【圏域の特徴・平成 29 年度目標】

【研修テーマ】

- ①「住環境整備～オーダーメイドでできる住宅改修～」(H 29. 9 .21)
- ②「緩和ケア研修会～がんと伝えられた患者さんってどんな気持ち?～」(H 29.11.17)
- ③「当院の医科歯科連携について～在宅で歯科医院とつながるために～」(H 30. 2 .21)

【広域主催の主な研修内容】

地域におけるリハビリテーション実施機関等の従事者に対する研修

【地域での連携状況】

講師派遣実績<平成 29 年度>

- 1) 徳田幸之介:「腰痛予防と転倒時の対策について」下ノ江地区 店・大間研修センター, 参加者 17 名. 4 月 20 日
- 2) 安藤真次:「心と体の健康体操」中白杵農村環境改善センター, 参加者 15 名 5 月 10 日
- 3) 阿部翔伍:「心と体の健康体操」南津留地域交流センター, 参加者 17 名. 5 月 23 日
- 4) 廣原円、石原智恵: 津久見市リハ職派遣事業所実地支援に係るアドバイザー, 白梅デイサービスセンターいこい, 参加者 30 名. 6 月 21 日
- 5) 阿部翔伍:「生活習慣と健康体操」佐志生藤田老人憩の家, 参加者 12 名. 7 月 6 日
- 6) 廣原円、石原智恵: 津久見市リハ職派遣事業所実地支援に係るアドバイザー, 白梅デイサービスセンターいこい, 参加者 24 名. 7 月 20 日
- 7) 高橋礼奈、薬師寺香奈: 運動指導, 江無田公民館, 8 月 8 日
- 8) 薬師寺香奈:「車椅子の点検・移乗・操作の仕方」板知屋公民館、参加者 27 名. 9 月 2 日
- 9) 野田絵里加、佐藤友紀: 運動指導, 江無田公民館, 9 月 12 日
- 10) 徳田幸之介:「生活習慣病へ運動の効果」田篠川地区サロン, 参加者 15 名. 9 月 14 日
- 11) 野田絵里加:「認知症予防体操」荒田公民館, 参加者 20 名. 9 月 16 日
- 12) 野田絵里加、首藤生実:「健康体操と壁飾り作成」北海添公民館, 参加者 50 名. 9 月 20 日
- 13) 真田康孝、直野滉平: 運動指導, 江無田公民館, 9 月 26 日
- 14) 安藤真次:「パーキンソン症状に対する機能低下の予防と日常生活を快適に送るための工夫」市浜地区コミュニティセンター 多目的室 1, 参加者 13 名. 9 月 29 日
- 15) 中江亮平、豆田悠紀見: 運動指導, 江無田公民館, 10 月 10 日
- 16) 阿部翔伍、廣戸桃香: 運動指導, 江無田公民館, 10 月 24 日

- 17) 首藤生実:「ヘルパー向け講習会 腰痛予防」臼杵市医師会立コスモス病院リハビリテーション室, 参加者 60 名. 11 月 9 日
- 18) 阿部翔伍、三又美喜:「健康講話～運動の重要性～」港町コミュニティーセンター. 参加者 80 名. 11 月 12 日
- 19) 徳田幸之介、石原智恵、佐藤明日香: 運動指導・高齢期のリハビリテーション. 江無田公民館, 11 月 14 日
- 20) 石崎香奈、首藤生実: 運動指導・結果発表と運動を日常生活に取り入れる方法. 江無田公民館, 11 月 28 日
- 21) 石崎香奈、豆田悠紀見:「ロコモティブシンドロームについて」「腰痛予防体操」野津中央公民館, 12 月 6 日, 参加者 70 名
- 22) 安藤真次、三又美喜:「誤嚥性肺炎について 腰痛予防体操」荒田公民館, 2 月 20 日, 参加者 10 名
- 23) 石崎香奈:「日常生活に運動を取り入れる方法」グループホームふくすけ, 2 月 21 日、参加者 12 名
野田絵里加:「農作業を行う方の腰痛予防について」四季彩菜, 2 月 22 日, 参加者 20 名
徳田幸之介:「腰痛予防と転倒時の対策について」下ノ江地区 店・大間研修センター, 参加者 17 名. 4 月 20 日
- 24) 安藤真次:「心と体の健康体操」中臼杵農村環境改善センター, 参加者 15 名 5 月 10 日

【圏域での災害支援の協力体制】

未定

【今後の課題】

南部圏域 佐伯地域



センター長
後 藤 陽一郎



担当窓口
土 谷 健 治



【圏域の特徴・平成 29 年度目標】

自立支援に向けた支援体制の拡充を地域全体で取り組む。

【研修テーマ】

多職種連携の強化と各事業所のスキルアップ。

【広域主催の主な研修内容】

- ①自立支援ケアプラン研修会（3回実施）
 - ②通所事業所実践力向上研修会
- ※いずれも佐伯市と共催

【地域での連携状況】

- ①研修会講師の依頼及び派遣調整。
- ②研修会の企画、広報及び開催を佐伯市と共同で実施。
- ③地域リハ活動支援事業への協力（スタッフの派遣及び多施設スタッフの派遣調整）
- ④高齢者にやさしい地域づくり協議会参加。

佐伯市においては、研修会の企画、開催や関連職種のスキルアップに関わる活動などを当センターと包括支援センターの共同で行っており、自治体との連携は十分にとれていると思います。

また、今年度は訪問事業所連絡会の立ち上げなども行っており、同職種での連携強化にも努めております。（通所事業所連絡会は設立済み）

【圏域での災害支援の協力体制】

現時点では特に無し。

【今後の課題】

- ①介護保険サービス卒業後の参加の場が少ないため、住民主体での通いの場を増やしていくことが必要。

豊肥圏域 大野地域



センター長
松尾 則 義



担当窓口
石丸 知 二



【圏域の特徴・平成 29 年度目標】

地域の住民はもとより地域の介護施設・医療施設の従事者に対する研修

【研修テーマ】

地域の要望に則した内容

【広域主催の主な研修内容】

研修会名：「トランスファー研修会」

日 時：平成 30 年 3 月 27 日（火） 18：30～20：30

参 加 者：地域の介護施設職員 8 名

近隣医療機関 新人療法士 6 名

講 師：是永浩二（帰巖会みえ病院 理学療法士）

補助講師：3 名 理学療法士

費 用：講師料（講師 1 名 補助講師 3 名）

【地域での連携状況】

地域ケア会議アドバイザー派遣調整

施設利用

- ・ 公社大分県理学療法士協会・看護協会研修会
- ・ 豊後大野市食支援ネットワーク研修会

【圏域での災害支援の協力体制】

- ・ 平成29年度 災害リハビリテーション支援ロジスティック研修会参加
2 名* 2 回

【今後の課題】

- ・ 災害時の協力体制の整備

豊肥圏域 竹田地域



センター長
大久保 健 作



担当窓口
甲 斐 恭 子



担当窓口
亀 井 英 孝



【圏域の特徴・平成 29 年度目標】

在宅を支援する地域の事業所のスキルアップとリスク管理意識を高め、医療・介護連携を推進する取り組みを行う。

【研修テーマ】

地域での自立支援の取り組みをサポートする

【広域主催の主な研修内容】

○テーマ：「自立支援ヘルパー育成・リハ職派遣事業～事例報告」

『とりあえずから始まった自立への支援～リハ職との連携から生まれた自信』

講師：岡の苑訪問介護ステーション 加藤昌子氏

『ヘルパーの不安を取り除く多職種連携』

講師：竹田地域リハビリテーション広域支援センター 理学療法士 新地義昭氏

日 時：平成 29 年 12 月 14 日

参加数：54 名

【地域での連携状況】

- ・竹田市保険課、地域包括支援センターと連携して研修を企画している。
- ・地域事業所での体力測定や評価方法の指導などへのリハ職派遣に協力している。

【圏域での災害支援の協力体制】

- ・29 年度の実績はなし。市からの要請があればボランティアセンターや避難所支援の人材派遣などで協力する予定。

【今後の課題】

- ・災害リハビリテーションの啓発
- ・リハビリテーション栄養の啓発
- ・医師も参加する多職種連携に関する研修会

西部圏域 日田玖珠地域



センター長
林 田 良 三



担当窓口
諫 山 昌 寿



担当窓口
三 木 征 博



【圏域の特徴・平成 29 年度目標】

行政・他職能団体との顔の見える関係を維持し、在宅医療・介護の連携推進を図る。

【研修テーマ】

今年度開催なし

【広域主催の主な研修内容】

今年度開催なし

【地域での連携状況】

○地域リハビリテーション活動・地域との具体的連

(1) 会議出席

- ①日田市在宅医療連携会議（2名：月1回：日田市医師会主催）
- ②西部圏域介護予防検討会（2名：11月14日：西部保健所主催）

(2) 相談・施設利用

- ①ふれあい健康相談（済生会日田病院にて2回：近隣の公民館で1回）
- ②大分県地域医療研修会受け入れ（7月）、大分大学医学部 AO 入試受け入れ、（8月）

○講師派遣（回数）

(1) パーキンソン病医療相談会の講師（2名×2回）

主催：西部保健所 対象：パーキンソン病患者及びその家族

日時：（1回目）平成29年8月30日（水）13：30～15：00 日田総合庁舎

（2回目）平成29年9月6日（水）13：30～15：00 玖珠総合庁舎

内容：「家庭でできるパーキンソン病のリハビリテーションについて

～転倒予防と正しい姿勢～」

(2) ひた健康運動リーダー（ボランティア団体）への研修会講師（1名）

主催：日田市健康保険課 対象：ひた健康運動リーダーの方々40名程度

日時：平成29年9月5日（火）日田市役所

内容：「高齢者における運動機能の特徴について」

(3) 自立支援型通所サービス研修会（2名×2回）

主催：日田市役所長寿福祉課 対象：デイサービス事業所職員

日時：（1回目）平成30年1月22日（月）18：30～20：30

小規模多機能型居宅介護支援事業所 陽だまり

（2回目）平成30年2月22日（木）18：30～20：30

日田市社協介護保険サービスセンター「おおやま」

内容：デイサービス利用者に対する自立支援の考え方について

（4）地域ケア会議への出席（日田市）

PT 3名で計6回出席

【圏域での災害支援の協力体制】

未実施

【今後の課題】

- ・地域包括ケアシステムの推進に向けて、住民ボランティアの育成を圏域内でどのように行っていくか？
- ・災害支援の協力体制についてどのように行っていくか？

北部圏域 中津地域



センター長
川島 真人



担当窓口
島澤 真一



担当窓口
杉木 知武



【圏域の特徴・平成 29 年度目標】

- 定期的な転倒予防教室・健康教室の開催
- 地域包括ケアシステムへの協力・参加

【研修テーマ】

- 健康教室（計 7 回 講師：当院 Dr 参加人数：毎回約 50 名）
 - 肩腱板損傷について（H29. 6.17） 手のしびれについて（H29. 7.15）
 - 腰痛の予防と治療（H29. 8.19） 整形外科疾患の予防（H29. 9.16）
 - フレイルについて（H29.11.18） エコーを用いた整形外科診療（H30. 1.14）
 - 私の健康教室（H30. 2.17）
- 骨と関節の日（H29.10. 7 講師：当院 Dr、PT、Ns 参加人数：約 60 名）
 - 骨と健康について ロコ・トレ
- 地域リハ講演会（H29. 9. 2）
 - オーラルフレイル（口腔機能低下）について
 - 前田歯科クリニック 前田隆洋先生
 - 川島整形外科病院玄真堂ホール 参加者数 155 名



【広域主催の主な研修内容】

【地域での連携状況】

- 転倒予防教室（PT 派遣 大幡地区 15 回・沖代地区 14 回 計 29 回）
- 中津市役所地域ケア会議助言者調整・派遣（各月 PT、OT 派遣 4～2 月 13 名）
- 中津市寄り合いの場への運動指導士派遣・調整 11 回（中津市内・本耶馬溪・耶馬溪・三光・山国）
- 中津市運動で健康づくり推進員養成講座 元気ハツラツ教室講師（PT 派遣 H29. 9.27 10. 4）
- 中津市医師会大腿骨近位部骨折地域連携パス作業部会（PT、OT 参加 H29. 4.22 9.30 12. 9）
- H29 年度北部圏域難病患者療養支援検討会（PT 参加 H30. 1.25）

【圏域での災害支援の協力体制】

- 九州北部豪雨時の情報収集・提供（今回は中津市から北部圏域中津広域支援センターへの依頼はなし）
 - 県リハセンター・各協会への協力体制の整備

【今後の課題】

- 専門職派遣増加に伴う体制の整備

北部圏域 宇佐高田地域



センター長
中原成浩



担当窓口
小野秀幸



【圏域の特徴・平成 29 年度目標】

市町村事業と連携し、リハビリテーションの視点で北部圏域在宅医療介護連携推進を図る

【研修テーマ】

実績無し

【広域主催の主な研修内容】

実績無し

【地域での連携状況】

- 1) 地域ケア会議助言者派遣調整
～宇佐市、豊後高田市
- 2) 地域ケア推進会議（宇佐市）参加：2回
- 3) 地域ケア会議助言者派遣（宇佐市）参加：5回（豊後高田市）参加：9回
- 4) 一般市民介護予防教室 講師参加：10回
～宇佐市、安心院町、院内町
- 5) 宇佐市サロン教室 講師派遣：11回
- 6) 北部圏域在宅医療・介護連携推進会議参加：2回

【圏域での災害支援の協力体制】

広域支援センター内のマニュアルの作成開始

【今後の課題】

圏域内での災害支援体制の確立のため、行政機関や他団体との連携体制の構築が必要と考える。
まずは情報共有のために研修会等を次年度は企画運営していきたい。

大分県下専門職能団体 (拡大運営会議構成団体) 活動報告

<記載項目>

①会の現状

②地域リハ関連の活動・取り組み

③地域リハ活動における課題・今後の展開

一般社団法人 大分県医療ソーシャルワーカー協会



会長
井 元 哲 也

1. 協会の現況

<正会員数> 276名 (H30年3月31日時点) 賛助会員 7団体

<執行部> 会長・副会長・理事 計15名

<H29年度理事会> 12回

基本方針

- 医療介護連携をはじめとする、地域包括ケアシステム構築に向けた事業への取り組みの強化。
- 会員の資質と専門技術の向上を目的とした、教育研修体制の充実。
- 熊本大分地震をはじめとするこれまでの災害支援活動の課題や反省をもとに、支援体制の更なる強化を図り、大分県の防災・減災体制構築に寄与する。
- 地域包括支援体制構築（全世代・全対象型地域包括支援）に向けたソーシャルワークに対する期待を踏まえ、これからの時代に必要とされる人材育成の在り方等について協会内及びソーシャルワーク関連他団体との協議を開始する。

<研修部活動>

【初任者研修開催 5/28・6/18・7/29・8/27・10/15】 目的：実務経験が3年未満のソーシャルワーカーが相談支援専門職としての価値・視点を学び、基礎及び標準的な能力を習得する。

【ステップアップ研修開催 12/10】 目的：実務経験3年程度のソーシャルワーカーがこれまでに得た専門的知識・技術を実践に置き換えることにより、より高い実践力を得ることを目指す。また、スーパーバイザーや中堅者に向けた準備としての基礎の振り返りを行う。

【スキルアップ研修開催 10/1・1/14】 目的：中堅者及び上級者が指導者、またリーダーとしてワンランク上のソーシャルワーカーとなるべく、専門的技術や知識、管理的能力の習得を目的とする。

【公開セミナー開催】 目的：全会員へ専門的知識・技術の向上並びに他専門職へソーシャルワークの実践の周知を図ることを目的とする。

<学術部活動>

【学術研究班】

①ホームページを活用した会員の学術研鑽支援・管理

- ・広報部と共同し、会員専用ページを利用したシステムを構築する
- ・会員から収集したデータを厳重に一元管理する。

②学術研修大会開催 3/18

学術講演、演題発表、研究班活動報告、診療・介護報酬説明会

③分析

- ・会員の学術研鑽における傾向を把握する。

・ホームページの活用状況を把握する。

診療報酬・介護報酬改定の最新情報、医療福祉制度の最新情報の発信

診療報酬・介護報酬改定および医療福祉制度最新情報説明会の実施

<ネットワーク推進部活動>

- ①「地域意見交換会」の開催
- ②リレーフォーライフ大分 2017 への参加・運営
- ③大分県保険医療団体協議会主催「げんきフェア」への参加
- ④その他、関係団体との連携及び関連事業に対する協力

<広報部活動>

- ①ホームページを活用した活動情報の発信
- ②メールマガジンの普及と情報発信
- ③Facebook の運用、管理
- ④LINE の活用広報誌の発行

<災害研修部活動>

- ①協会としての災害支援体系構築など、組織的な活動を実施するためのアクションプランの作成
- ②各種災害を想定した災害訓練の計画、実施
- ②各会員へ災害ソーシャルワークの理解を深めてもらうため、協会として作成したソーシャルワーカーの災害時行動指針の製本を行い、各会員に配布
- ③九州各県の医療ソーシャルワーカー専門職団体を主とした、他団体との相互協力体制の推進

<地域包括ケア研究班活動>

- ① H27 年 4 月より取り組まれている『在宅医療介護推進事業』について情報集約を行い、どのような役割や機能が期待されているかを検証する。
- ②関係職種からみた MSW の役割と機能、認識と期待についての調査
- ③診療報酬（退院調整加算、退院前カンファレンス等）における医療ソーシャルワーカーの役割や機能の検証と、実態調査
- ④地域で開催される他職種連携や地域包括ケアに関する会議や研修参加による情報収集
- ⑤研究費助成申請

2. 地域リハ関連活動取組（下記内容に伴う会議について省略）

- ・大分県地域包括ケア研究会・地域リハビリテーション・ケア研究大会
- ・大分大学社会福祉科学講座・大分市在宅医療・介護連携会議

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

医療と介護の連携をはじめ、地域リハビリテーション、地域包括ケア推進における地域連携において医療ソーシャルワーカーが求められる役割は大きい。当協会においては、個人を支援するうえで最も重要となる個人の価値を尊重し、自己決定における支援を進める視点を持ち、地域生活の実現へ向けた支援を進めていくソーシャルワーカーの育成に寄与し続けることで地域の福祉向上の一端を担って行きたいと考えています。

公益社団法人 大分県栄養士会



会長
安部 澄子

I. 会の現状

1. 栄養士会は管理栄養士・栄養士の資格を有し7つの職域分野にわかれ専門職として活躍している。栄養の日（8/4）・栄養週間（8/1～8/7）と定め「栄養の大切さ」を理解していただくために実践活動し地域社会に貢献している。

会員数 828名（平成30年3月31日現在）

職域分野（7）	支 部（7）
(1) 学校健康教育 47名	大 分（大分市・由布市）
(2) 公衆衛生 57名	別 府（別府市）
(3) 教育・研究 37名	東 部（日出・国東・杵築）
(4) 勤労者支援 10名	北 部（宇佐・中津・豊後高田）
(5) 地域活動 163名	豊 肥（竹田・豊後大野）
(6) 医 療 324名	南 部（佐伯・臼杵・津久見）
(7) 福 祉 190名	西 部（日田・玖珠）

2. 栄養士会は7つの職域分野に分かれているため、各分野において資質の向上のための教育・研修を実施し全体的には生涯教育を毎年行い共通認識をもって「栄養・食生活」に関してそれぞれの会員が対応できるよう研修会を実施し県民の健康維持増進を心がけている。
3. 事業については、総務部・事業部・栄養ケア・ステーション部・広報部にわかれ理事がそれぞれ担当し円滑に運営できるよう社会のニーズに合わせた活動を展開している。

II. 地域リハ関連の活動・取組

〈教育・研修事業〉

研修会

1. 生涯教育 年間10回開催 延べ917名参加
2. 大分県リハ職等スキルアップ研修会（地域ケア会議アドバイザー強化研修）

	演 題	月日	参加人数
①	在宅高齢者の口腔機能と食形態への配慮について	5/28	60
②	大分県の各市町村における高齢者の状況と問題点		
③	在宅での摂食・嚥下障害について（嚥下のメカニズムと評価）	6/18	73
④	介護福祉士との連携～情報の共有と管理栄養士への理解～		
⑤	認知症の方への食事支援 / その着眼点、対応及び考え方 ～おいしく、楽しく美しく生きる栄養を活かす摂食機能の実力、穏やかで心豊かな長寿社会～	7/15	74
⑥	慢性腎臓病（CKD）における人工透析と食事指導のコツ		
⑦	診療報酬と介護報酬について		

3. 県外への研修支援
北海道栄養士会・福島県・山形県・鹿児島県・日本栄養士会
4. 関係会議・研修会運営等への出席
①大分地域リハビリテーション研究会運営部会

大分地域リハビリテーション研究会役員会

- ②第15回大分県地域リハビリテーション支援センター拡大運営会議
- ③おおいた食のリハビリテーション研究会担当者会議
(栄養士会・言語聴覚士会・歯科衛生士会・介護福祉士会)
第21回合同研修会・総会 (H29. 7/16 (日))
第22回合同研修会 (H30. 3/18 (日))
- ④大分県保健医療団体協議会 (11 団体)
第18回げんきフェア (H29.11/12 (日))
合同研修会 (H30. 3/11 (日)) 笑いの現場から学ぶ
テーマ「ひとを喜ばせる・輝かせるコミュニケーション」
- ⑤大分県社会福祉介護研修センターへの協力
介護職員現任者研修 (訪問・通所介護事業所サービス計画担当者研修)
福祉施設栄養士・調理担当者研修会 6/15 (木)
摂食・嚥下セミナー 6/23 (金)・8/9 (水)・9/20 (木)

Ⅲ. 人材派遣

- ・地域ケア会議多職種助言者派遣事業
派遣市町村 17 市町村 回数 502 回 管理栄養士 79 名
- ・杵築市地域ケア会議
子ども子育てプラン等障がい者・生活困窮者
回数 10 回 管理栄養士 1 名
- ・医師が参加する地域ケア会議
大分市 3 回 (8/17・10/19・12/14) 津久見市 1 回 (2/9)
日田市 6 回 (7/14・8/24・10/25・11/29・1/24・2/28)
豊後大野市 2 回 (12/21・2/8)

Ⅳ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

- ・課題
 - ①医療と介護との連携による在宅支援
高齢者の低栄養の改善・疾病の重症化予防
 - ②地域ケア会議での栄養ケア・マネジメントに対する理解
専門職としてのスキルアップ、管理栄養士の視点の統一
 - ③在宅訪問栄養指導の実施
 - ④認知症に対する理解
- ・今後の展開
 - ①栄養ケア・ステーション事業の充実
 - ・在宅訪問栄養指導の必要性
高齢者の栄養改善、食生活全般を見る必要がある。複合的な疾病を持ち健康課題を有する高齢者に対して医師・歯科医師・薬剤師・ヘルパー・ケアマネジャー等と連携を図りながら対応する必要があることを痛感している。
管理栄養士においては経験を担保し医療と介護の連携を密にして介護予防にもつながる在宅訪問指導の実現を計りたい。
 - ・電話無料相談事業
栄養・食生活に関する総合相談
乳幼児・妊産婦・障がい者 (児)
若い世代男女に関する食生活全般
 - ②会員に対するスキルアップ研修会の実施
 - ③県民の公衆衛生に関する各事業に参加協力し、社会的責務を果たす

NPO 法人 大分県介護支援専門員協会



理事長
工 藤 修 一

特定非営利活動法人 大分県介護支援専門員協会は、「介護保険制度が利用者主体の制度として確立されるよう、専門的知識及び技能を研鑽し、介護支援専門員の資質及び社会的地位の向上に努めることにより、公正・中立なケアマネジメントの実現を目指し、県民の健康と福祉の向上に寄与すること」を目的として、平成18年2月に設立された団体です。現在、763名の会員が在籍し、県下14支部協議会が組織化されています。

基本方針

- 1) 介護支援専門員の専門的資質及び職業倫理の向上
- 2) 介護支援専門員の自主的、自立的職能団体の確立のための研修会などの開催
- 3) 各地域の介護支援専門員協会が行う自主的な活動を支援
- 4) 介護支援専門員の社会的地位の確立
- 5) 介護保険の円滑な実施とサービスの向上に寄与すること

平成29年度活動内容

1) 協会の運営

- | | |
|----------|-----|
| ①総会の開催 | 年1回 |
| ②理事会 | 8回 |
| ③相談窓口の設置 | 随時 |

2) 組織強化

- ①新規会員の獲得、未加入地域の入会促進
- ②各地域協議会と連携し介護支援専門員の支援体制を強化
- ③日本介護支援専門員協会及び九州・沖縄ブロックとの連携
- ④事務局体制の整備

3) 研修・広報

- ①グループスーパービジョン（事例検討チーム）学習会
- ②介護支援専門員試験受験対策講座
- ③介護支援専門員全国统一模擬試験
- ④主任介護支援専門員研修
- ⑤主任介護支援専門員実践力向上研修

- ⑥主任介護支援専門員更新研修
- ⑦実務従事者基礎研修法定研修
- ⑧グループスーパービジョンメンバーによる主任研修プレゼンテーション
- ⑨実習指導者要請研修
- ⑩県南・県北地域での県介護支援専門員協会主催の研修
- ⑪その他 介護支援専門員の資質向上に関する研修
- ⑫広報誌の発刊、月刊ケアリング「ケアマネージャー地方回覧板」

4) 他団体との連携

大分県をはじめ、各種団体が行う会議等へ職能団として参画し、介護支援専門員の立場から積極的に意見や提言を行ってきました

連携先団体名

- ・大分県老人福祉計画策定協議会
- ・大分県難病医療連絡協議会
- ・大分県在宅歯科診療検討部会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・大分県認知症施策推進会議
- ・大分県在宅医療連携委員会
- ・大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会
- ・大分県地域保険協議会高齢者介護小委員会
- ・大分大学福祉科学講座実行委員会
- ・脳卒中懇話会
- ・大分県地域リハビリテーション支援センター 運営委員会
- ・大分県社会福祉介護研修センター 運営委員会及び福祉用具部会
- ・大分県地域リハビリテーション研究会役員会
- ・大分県地域包括ケア研究会 世話人会
- ・大分県地域リハビリテーション研究会運営部会
- ・大分県介護ロボット普及促進協議会

介護支援専門員は地域の利用者の自立支援のため日常生活全般における総合的な支援をする“対人援助専門職”であります。それ故に介護支援専門員の職能団体としての組織力をより強化し、県内の介護支援専門員の一人ひとりの意見集約に努め、その役割を十分に担える環境を整備すること、そして、利用者の自立支援に繋がるケアマネジメントに対して高い評価が得られるよう積極的に活動を行うことが非常に重要であると考えられます。今後も行政及び各職能団体の皆様のご理解とご協力を賜り協会運営に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

一般社団法人 大分県介護福祉士会



会長
三浦 晃 史

I. 協会の現状

平成 30 年 5 月 13 日現在 会員数 1,212 名

組 織	支 部
○専門研修部 ファーストステップ研修 基本研修 実習指導者講習会 サービス提供責任者研修 障害者のための支援研修 技能実習指導員講習会	日出（別府市、日出町、杵築市、国東市、豊後高田市） 大分（大分市） 由布（由布市） 臼杵（臼杵市、津久見市） 佐伯（佐伯） 豊後大野（豊後大野市、竹田市）
○学術研究部 通年研修	宇佐（宇佐市、中津市）
○研 修 部 主催研修会の企画立案・実施	日田（玖珠町、日田市）
○教育研究部・講師養成事業 福祉の心醸成事業 出前講座 講師養成・講師派遣	
○調 査 部 会員に資する調査の実施	
○広 報 部 広報紙「BUNGOUME」の発行等	
○渉外事業部	

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

主催研修

- 第 1 回研修会 平成 29 年 6 月 10 日（土）「摂食・嚥下に対する食支援」 参加者 50 名
- 第 2 回研修会 平成 29 年 12 月 10 日（日）「介護施設内感染予防について」 参加者 45 名
「たばこについて考えてみませんか？～吸う人も吸わない人も～」
「現場で役立つ介護職のための薬の知識」 参加者 40 名
- 第 3 回研修会 平成 30 年 3 月 25 日（日）「新人教育に関する事例発表」
「介護福祉士の倫理と専門性」 参加者 56 名
- 障害者支援のための研修会 平成 29 年 10 月 27 日（金） 参加者 19 名
- 福祉・介護人材確保助成県事業 出前講座（県下福祉系高校への介護技術講座の実施 7 回）
 - ・大分県立大分南高等学校 2 回（H29.10/23・10/25）
 - ・大分県立佐伯豊南高等学校（H29. 6/27・H30. 3/14）
 - ・（学）岩尾昭和学園 昭和学園高等学校（H30. 2/14）
 - ・NBU 日本文理大学附属高等学校（H30. 3/13）
 - ・大分舞鶴高校（H29. 7/25）
- 大分県社会福祉介護研修センター協力事業「子どものための福祉講座」 年 13 回 講師人数 55 名
- 大分市社会福祉協議会協力事業「福祉講座」平成 29 年 6 月～平成 29 年 12 月 12 回 講師人数 35 名
- 宇佐市社会福祉協議会協力事業「出前授業」平成 29 年 7 月～平成 30 年 2 月 6 回 講師人数 4 名
- 由布市社会福祉協議会協力事業「福祉体験教室」平成 29 年 10 月～11 月 4 回 講師人数 5 名

○実習指導者養成講習会の実施

第1G H29. 6/21 (土)・22 (日)・7/16 (土)・17 (日)

受講者 33名

第2G H29. 2/25 (土)・26 (日)・3/18 (土)・19 (日)

受講者 38名

○ヘルパー2級資格取得講座講師派遣 平成29年7月～10月

講師派遣人数 28名

○介護福祉士国家模擬試験 H29.12. 3 (日) 30名受験

大分県地域リハビリテーション支援センター関連

○大分県地域リハビリテーション支援センターの活動

・第15回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会

「地域包括ケアシステム：災害時の地域リハビリテーションの役割～有事に備えて、今やるべきこと～」

平成29年7月10日(日) スタッフ参加

○大分県地域リハビリテーション研究会の活動

・平成30年1月21日(日) 第7回大分県地域リハビリテーション・ケア大会

○おおいた食のリハビリテーション研究会の活動

・平成29年8月6日(水) 摂食嚥下セミナー講師 3名

○大分県社会福祉介護研修センター摂食・嚥下セミナー講師派遣 平成29年8月6日 講師派遣1名

○「センターまつり&げんきフェア2017」平成29年11月12日(日)

(一社)大分県介護福祉士会ブース設置 (高齢者疑似体験) インストラクター 5名派遣

各種委員会への委員派遣

大分県地域リハビリテーション研究会・大分県排尿リハビリテーションケア研究会

大分県契約締結審査会委員・大分県ボランティアネットワーク委員会

大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会

大分県災害ボランティアネットワーク運営委員会・大分県老人福祉計画策定委員会

大分県社会福祉介護研修センター運営委員会・大分県社会福祉介護研修センター福祉用具専門部会

中部圏地域リハビリテーション支援センター実行委員会・介護認定審査会

大分県医療適正化推進協議会委員・大分県国民健康保険運営協議会委員

大分県介護予防市町村支援委員会・大分県認知症施策推進委員

大分県福祉人材確保推進協議会・福祉人材確保推進会議・大分県地域包括ケア研究会

脳卒中懇話会世話人会・豊後大野市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会

大分県介護ロボット普及促進協議会・大分大学福祉講座・大分県作業療法協会

おおいた食のリハビリテーション研究会・大分市在宅医療、介護連携会議委員

自立支援ヘルパー検討委員会

「人材不足分野における人材確保のための雇用管理改善促進事業(介護分野)」に係わる啓発

実践員・教育過程編成委員会・日田市在宅医療連携会議委員

おおいた介護ロボット等導入促進協議会・大分県高齢者福祉施策推進協議会

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

超高齢化と深刻な少子化を迎え、「地域包括ケアシステム」の実現・深化が求められている。国民福祉の向上を使命とし、「暮らしを支える生活支援の専門職」である介護福祉士が果たすべき役割も新たな局面を迎えている。介護人材不足や処遇改善など、課題は山積しているが、これからも質の向上に邁進し、今後も継続して取り組み続けることが重要であると考えます。

このスピードに遅れることなく関係機関及び関係団体との連携強化を図りながら、魅力ある研修や情報提供はもとより未来を見据えた福祉人材確保にも注力し活動を進めていきたい。

公益社団法人 大分県看護協会



会長
竹中 愛子

I. 大分県看護協会の現状

- 1 会員数は9,814名。(平成30年3月末現在)
- 2 看護職の資質向上のための教育・研修、訪問看護等に関する事業、看護領域の開発・展開に関する事業、看護職が働き続けられるための環境改善に関する事業、県民への保健・医療・福祉等の知識の普及、看護における医療安全及び災害時の救護、看護職の就業促進及び進路相談、その他公益目的を達成するために必要な事業の8つの事業を行うことにより、時代の変化と人々のニーズにあった安全で質の高い看護の提供をめざし、地域社会に貢献している。
- 3 これらの事業は、本協会において実施するほか、職能委員会(4) 常任委員会(10)等16の委員会活動及び県下を下記の11地区に分け、地区における会員の活動により展開している。
①国東 ②別府・杵築・日出 ③大分中央 ④大分東部 ⑤大分西部 ⑥臼杵・津久見 ⑦由布 ⑧豊後大野・竹田 ⑨中津・宇佐・豊後高田 ⑩佐伯 ⑪日田・玖珠・九重地区

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

<教育・研修事業>

協会内で行う主な事業として、看護職の資質向上のための研修事業があり、平成29年度は、年間153研修・延451日実施し、受講者数は延18,522人。

1) リハビリテーション関連研修の実施状況

主なりハビリ関連研修

於) 大分県看護研修会館

	研 修 名	開催日・受講者数	
1	摂食・嚥下障害患者の看護	11/18	44
2	最新の脳血管障害患者の治療と看護	1/14	82
3	在宅看護：最新の排痰ケアと呼吸理学療法	12/13	22
4	在宅看護：誤嚥性肺炎予防と口腔ケア	2/7	26
5	在宅看護：心不全の病態生理・治療・看護	9/16	43
6	在宅看護：慢性呼吸不全患者の看護	10/14	20
	計	6回	237

<県民の健康づくりの活動>

1 げんき教室

毎月第4水曜日 14:00～15:30 計12回

会場：大分県看護研修会館 対象：高齢者等(一般)

参加者：延 925人

2 「まちの保健室」開催

各会場で血圧・体脂肪測定・血管年齢測定・骨密度測定・健康相談等を実施

①おおいた食と暮らしの祭典 於) ガレリア竹町 3日間(10/13.14.15)

来場者 延 640人

②「人とみどりふれあいいち」

於) 平和市民公園 5日間 (4/5・11・17・5/1・3/26) 来場者 延 283人

③大分県立図書館 2日間 (5/28・10/29) 来場者 延 244人

④「げんきフェア」 於) 大分県社会福祉介護研修センター 1日 (11/12) 来場者 270人

⑤あすぴあフェスタ 於) 大分県身体障害者福祉センター 1日 (11/19) 来場者 81人

⑥すこやか家族博覧会 於) コンパルホール 1日 (9/23) 来場者 600人

3 「平成29年度看護フォーラム」(看護の日・看護週間事業)

テーマ「おらんちのバツパさま」～認知症の明るいまち在宅介護～

日 時：平成29年5月14日(土) 13:00～15:30 参加者 100人

・「ふれあい看護体験」 97施設・参加者 1,090人

<会議等>

1 大分県地域リハビリテーション研究会

・第7回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会 平成30年1月21日(日)

看護協会から2演題発表

病院等の看護職及び看護協会から7名参加

・運営部会に担当者8回出席

2 第14回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

平成29年7月9日(日)

病院等の看護職及び看護協会から1名参加

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成30年度 地域リハ関連の活動・取り組み

<教育・研修事業>

1) リハビリテーション関連研修

①リハ関連研修を継続し、看護職の資質向上を図る 8研修実施予定

②地域包括ケア及び在宅での療養者のための訪問看護等に関する事業を強化

県民が最期まで安心して在宅療養が送れるようにリハビリを含む質の高い訪問看護サービスや地域包括ケアが実施できるよう取り組む。教育機関として、学生の訪問看護実習を受け入れ。

<県民の健康づくりの活動>

1) げんき教室 12回開催

2) 「まちの保健室」開催 6種類のまちの保健室開催予定

①大分市食と暮らしの祭典 ②人とみどりふれあいいち ③大分県立図書館 ④げんきフェア

⑤ふれあいフェスタ ⑥すこやか家族博覧会

3) 「平成30年度看護フォーラム」(看護の日・看護週間事業)

日時：平成29年5月13日(日) 13:00～15:30

<会議等>

1) 大分県リハビリテーション支援センター拡大運営会議

2) 大分県地域リハビリテーション研究会

・大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会

・役員会、運営部会

3) 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

公益社団法人 大分県言語聴覚士協会



会長

木村 暢夫

I. 協会の現状

- 1) 会員数及び施設数（平成30年3月31日現在）
会員数：333名 ※約7割が大分、別府に集中している
施設数：102施設
- 2) 構成：事務局（総務部、財務部、災害対策部）
社会局（生涯学習部、広報部、福利厚生部）
事業局（医療保険部、介護保険部、障害保健福祉部、地域活動推進部）

II. 地域りハ関連の活動・取り組み

- 1) 言語障害友の会「なし会」関連
 - ①第15回なし会総会
日時：平成29年6月4日（土）10:00～14:00
場所：石光集会所（由布市）
内容：なし会総会、交流会等
参加者：36名
 - ②なし会忘年会
日時：平成29年11月19日（日）11:00～15:00
場所：明野アクロス（大分市）
内容：ボッチャ大会・交流会・食事会・ひょっこり鑑賞
参加者：33名
 - ③なし会ブロック長会議
日時：平成30年2月11日 10時30分～14時30分
場所：大分市西部公民館
内容：活動報告、活動計画の確認、会計報告など
参加数：18名
 - ④各ブロック会活動
日時：各ブロックにて2か月に1回開催
場所：各ブロック会にて決定
内容：交流会、食事会、情報交換会等
- 2) 啓発活動
 - ①第11回言語聴覚の日
日時：平成29年9月2日 15時～18時
場所：JR大分駅前広場
内容：言語障害や加齢性難聴、嚥下障害に関する相談、脳トレ体験、学生への進路相談
対象：一般市民700名程度
 - ②言語障がい者の集い in 大分
日時：3月17日
場所：大分県社会福祉介護研修センター
内容：講演、シンポジウム
 - ③なし会ホームページの運営
内容：各ブロックで随時更新
 - ④失語症会話サポーター養成講座（佐伯、玖珠）
日時：平成29年10月1日（佐伯開催）、11月12日（玖珠開催）
場所：保健福祉総合センター和楽 第1会場（佐伯会場）

くすまちメルサンホール（玖珠会場）

内 容：失語症会話サポーターの養成、失語症についての啓発

対象者：一般住民、医療関係者、介護支援専門員、介護職、当事者、家族等

参加数：佐伯開催 40 名 玖珠開催 49 名

3) げんきフェアへの参加

第 18 回げんきフェア

日 時：平成 29 年 11 月 12 日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：研修センター祭りとの共催で、医団協の啓発

ST ブースでは、相談、体験コーナーを実施

対 象：一般市民

参加数：ST ブースには 70 名参加

4) 大分県地域リハビリテーション関連

①第 14 回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

日 時：平成 29 年 7 月 9 日（日）9：50～14：40

場 所：別府ビーコンプラザ 3 階 国際会議室

内 容：わが町の地域課題解決に向けた地域リハビリテーションの在り方

②第 7 回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会

日 時：平成 30 年 1 月 21 日（日）9：30～15：30

場 所：別府ビーコンプラザ 3 階 国際会議室他

内 容：災害と地域連携

5) おおいた食のリハビリテーション研究会

第 22 回研修会

日 時：3 月 18 日（日）9 時～12 時 30 分

場 所：大分県社会福祉介護研修センター 大ホール

内 容：「現場で役立つポジショニング・シーティングの豆知識」

「栄養的視点からのチームアプローチ」

参加人数：85 名

6) 5 歳児発達相談会・巡回相談への派遣

・中津市 ～ 派遣回数 4 回 豊後高田市 ～ 派遣回数 4 回

・杵築市 ～ 派遣回数 5 回 日田市 ～ 派遣回数 3 回

・由布市 ～ 派遣回数 8 回 別府市 ～ 派遣回数 2 回

7) 他団体等への講師派遣

①心のネットワーク事業地域研修会 ～ 派遣回数 10 回

内 容：幼児期におけることばの支援について

②放課後等デイサービスにおける言語聴覚士の派遣 ～ 派遣回数 20 回

内 容：児童及び職員への言語指導・アドバイス

8) リハ関連団体及び県・行政との連携

①大分 JRAT 関連会議参加 ～ 参加回数 4 回

②平成 29 年度 介護予防職員育成推進事業研修 サービス計画担当者研修 講師派遣
～ 派遣回数 6 回

③平成 29 年度 介護予防職員育成推進事業研修 介護職員現任者研修 講師派遣
～ 派遣回数 2 回

④平成 29 年度 大分市パワーアップ教室 講師派遣 ～ 派遣回数 1 回

⑤平成 29 年度 竹田市介護保険サービス事業所実践力向上研修講師派遣 ～ 派遣回数 1 回

⑥杵築市研修会講師 ～ 派遣回数 1 回

⑦平成 29 年度地域包括支援センター現任者研修 講師・ファシリテーター

⑧地域ケア会議助言派遣 派遣先：中津市、宇佐市、国東市、竹田市、佐伯市

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域包括ケアシステム構築に向けた県内の取り組みが推進されるなか、「きこえ」「ことば」「食べること」「コミュニケーション」に対する当協会の役割は大きく、病院や施設、学校領域から地域へ広がってきています。地域のニーズに対して柔軟な対応ができるよう、専門性の向上に努めるとともに、行政機関、関連職種・団体との連携を図りながら大分県の地域リハビリテーションの充実に向けた事業展開をしていきたいと考えます。

公益社団法人 大分県作業療法協会



会長

高 森 聖 人

I. 協会の現状（平成 30 年 3 月 31 日現在）

正会員数 980 名（うち自宅会員 53 名、休会者 25 名）／所属施設数 225 施設

名誉会員 1 名，賛助会員 5 団体，有識者理事 6 名

支部：大分中央，大分東，大分西，大分南，東部，西部，南部，北部，豊肥

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

啓発・普及事業

- 作業療法一日体験 H 29. 7～8 月 参加者：県内高校生 141 名
- 中学校の「職場体験」への協力 H 29. 5 月～ 対 象：市町村教育委員会
（中学校の「職場体験」受入可能施設の把握と市町村教育委員会への情報提供）
- 「作業療法の日」リハビリテーション相談 H 29. 9.24（日） 来場者：約 60 名
- 作業療法フェスタ 2017 H 29. 9.24（日） 参加者：約 600 名
- 作業療法ミニフェスタ
 - 日出町「城下カレイ祭り」 H 29. 5.14（日） 来場者：311 名
 - 日田市「日田市市民健康福祉祭り」 H 29.10. 8（日） 来場者：315 名
 - 豊後大野市「ふるさとまつり 2017」 H 29.11.12（日） 来場者：107 名
 - 大分市「春日まつり」 H 29.11.12（日） 来場者：310 名
- ジョブカフェおおいた 職業人講話
 - 別府鶴見ヶ丘高等学校 H 29. 7.10（月） 参加者：30 名
 - 別府翔青高等学校 H 29.11.24（金） 参加者：24 名
- 「リレー・フォー・ライフ大分 2017」参加 H 29.11. 3（金）～4（土）
参加者：53 名
- 「大分大学開放イベント 2017」作業療法コーナー設置 H 29.11. 5（日） 参加者：306 名
- 「大分県社会福祉介護研修センターまつり & げんきフェア 2017」作業療法コーナー設置 H 29.11.12（日） 来場者：約 100 名
- 九州夢大学「お仕事研究ゾーン」作業療法ブース設置 H 29. 7.26（水） 来場者：8 名

研修会等

- 第 21 回大分県作業療法学会 H 30. 1.21（日） 参加者：190 名
テーマ「再考 - 活動と参加を支える作業療法 -」
- 人材育成道場 講師編（4 回シリーズ） 参加者：5 名
- 人材育成道場 地域ケア会議助言者編 H 29. 9. 3（日） 参加者：12 名
- 地域ケア会議新規助言者研修会 H 30. 3.22（木） 参加者：7 名
- 障害者スポーツ研修会 H 29.11.18（土） 参加者：12 名
- 制度対策研修会 H 30. 1.31（水） 参加者：54 名
- 発達支援に関する研修会 H 30. 2.16（金） 参加者：35 名
- 生活行為向上マネジメント研修会

- ①基礎研修 H 29. 7.15 (土) 48名
- ②アドバンス研修 H 29. 9. 2 (土) 40名
- ③事例検討会 H 29.10.14 (土) 18名 | H 30. 2. 4 (日) 6名
- 認知症アップデート研修会(基礎編, 応用編, 報告会) 参加者: 延べ 258名
- 大分県リハ職等スキルアップ研修 [委託研修] (全9回) 参加者: 延べ 551名

人材派遣等

- 市町村の地域ケア会議等への助言者及び広域支援員の推薦・派遣
 - 大分県地域ケア会議他職種派遣事業に係る助言者の推薦・派遣
派遣先: 16市町 / 派遣者: 57名 / 派遣回数: 231回
 - 大分県地域ケア会議広域支援員派遣事業に係る広域支援員の推薦・派遣
推薦者: リーディングコーディネーター3名, リーディングアドバイザー5名
派遣先: 7市 / 派遣者: 1名 / 派遣回数: 15回
 - 医師が参加する地域ケア会議への助言者派遣
派遣先: 5市 / 派遣者: 7名 / 派遣回数: 8回
- 市町村等の介護認定審査会委員の推薦 推薦先: 1市 / 推薦者: 2名
- 豊後高田市乳幼児精密検診事業への人材派遣 派遣者: 3名 / 派遣回数: 4回
- 杵築市母子保健事業(巡回発達相談、発達支援教室)への人材派遣
派遣者: 3名 / 派遣回数: 6回
- 大分市の地域リハビリテーション活動支援事業における地域ふれあいサロンへの人材派遣
派遣者: 7名 / 派遣回数: 9回
- 大分県高齢者福祉施策推進協議会委員の推薦 推薦者: 1名
- 大分県地域包括ケア推進会議への人材派遣 派遣者: 1名
- 在宅医療・介護連携推進事業(大分県)への人材派遣 派遣者: 2名
- 別府市地域ケア連携システム会議への人材派遣 派遣者: 1名
- 各種研修会等への講師等派遣
 - 大分県内 派遣先: 22事業 / 派遣回数: 60回
 - 大分県外 派遣先: 8事業 / 派遣回数: 8回
- 大分 JRAT の災害リハビリテーション支援活動への協力

その他

- 広報誌「伝DEN」の発行 H 29. 4, H 29.10 / 各 2,300部
- 関連諸団体との連携
 - 関連諸団体の理事, 監事, 委員, 世話人等
 - 委員会・会議等への出席
 - 事業企画・運営への協力等

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成 29 年度は、より機能的な事業運営を目指し、部局並びに支部組織の改編を行い、県内各地で作業療法やリハビリテーションの啓発普及を図るとともに、県や市町村、地域住民等からの様々な依頼に対し、会員を派遣・推薦し、合わせて地域ケア会議や介護予防・日常生活支援総合事業等、地域において求められる新たな人材の確保と現に携わっている者のさらなる質の向上を図ったところだが、近年は高齢者や障害者の支援のみならず、生活困窮者や子ども子育てに関する支援等、市町村等からの協力依頼も幅広くなってきている。

これらの多岐に渡る依頼に対し、幅広い知識と技術を有する人材の確保と育成が喫緊の課題である。

平成 30 年度は、地域ケア会議助言者等のスキルアップ研修のほか、発達支援に関する研修会を 5 回シリーズで行う。また、県民に対しては、作業療法フェスタや出張講座等による啓発普及に加え、認知症予防・認知症者支援等に関する市民公開講座を開催し、誰もが住みよいまちづくりについて考えるなど、より県民の身近なところで活動を展開していく予定である。

一般社団法人 大分県歯科医師会



会長

長尾 博 通

1. 会の現状

会員数：625名（平成30年4月現在）

地域福祉委員会が介護保険、高齢者・障がい者歯科保健、在宅歯科医療、医療連携の関連分野を担当している。

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

* 高齢者のよい歯のコンクール

口腔の衛生管理に努力し、80歳で20本以上自分の歯を保持している健康な方を表彰することで、口腔の健康の重要性を県民にアピールしている。昨年度は優秀賞5名、優良賞10名を選出し表彰した。

* 老人保健施設訪問歯科保健事業

老人保健施設・福祉施設を大分県歯科衛生士会と大分県歯科技工士会と共に訪問する。口腔内検診、歯科保健指導や口腔ケア、義歯のネーム入れ、また施設職員を交え入所者の口腔衛生管理の問題点を話し合う。29年度は、臼杵市の「特別養護老人ホーム 栄寿荘」を訪問した。

* 障がい者歯科保健研修会の開催

口腔ケアの知識の習得や障がい者歯科医療のネットワークづくりを目的として開催している。29年度の研修会は、日本障害者歯科学会と本会共催の「障がい者歯科セミナー」と同日開催した。講師として長崎県口腔保健センター 診療部長、長田 豊先生をお招きし、「センターを中心とした障害者歯科保健医療体制づくりを目指して～長崎県口腔保健センターの取り組み～」、「障害者の歯科疾患の特徴と対応法について」という演題でご講演いただいた。

障がい者歯科セミナーでは、「センターで取り組む障がい者歯科」をテーマに、緒方克也先生（日本障害者歯科学会副理事長）、江面陽子先生（日本障害者歯科学会地域医療推進委員会委員）、花房千重美先生（加古川歯科保健センター歯科衛生士）、寺田ハルカ先生（おがた小児歯科医院歯科衛生士）をお招きしてシンポジウムを実施した。

* 全国共通がん医科歯科連携講習会

平成29年10月28日、大分県歯科医師会館にて開催

本研修会は「口腔ケアや歯科治療が、より質の高いがん治療を提供する上で重要である」とし、がん患者の治療前の口腔ケアを地域歯科医療機関に依頼し、これを実施するものである。

本講習会は、連携にたずさわる歯科医療従事者に研修を行い、知識を統一することで連携の質を担保し、各地域間での差異を解消することを目的としている。

*** 歯科医師認知症対応力向上研修会**

認知症の早期診断・早期対応のための体制整備の一環として、歯科医院を受診する高齢者への対応が必要となる歯科医師に対し、認知症の患者本人とその家族を支えるために必要な知識や、医療と介護の連携の重要性等を認識し、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、その後も認知症の疑いのある患者の状況に応じた歯科治療・口腔管理を適切に行い、認知症患者への支援体制構築の担い手の育成を目的に実施した。

「歯科医師認知症対応力向上研修 基本知識編」として、大分県医師会常任理事の井上雅公先生に、「かかりつけ歯科医師の認知症患者に対する役割」として杉並区歯科保健医療センター診療医長の福井智子先生にご講演をいただいた。

*** 各種委員会、協議会、研修会への参加**

- ・大分県リハビリテーション協議会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・豊の国 8020 運動推進協議会
- ・大分県障がい児・者歯科保健検討部会 等

3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

障がい者歯科高次医療機関の設備整備として、本年3月に「大分県口腔保健センター」を、大分県歯科医師会館内に開設をした。センター設置に伴い、より一層の障がい者歯科医療提供体制の強化を行政と連携を図り、行っていきたい。

認知症施策にともない歯科医師対象の認知症対応力向上研修会が平成29年度より開始している。会員に研修会の参加を促し、認知症患者の食支援や多職種との連携強化を図る。

平成29年5月29日に大分県と「災害時における被災者の医療救護に関する協定」を締結したが、災害時に歯科医師を迅速に派遣し歯科支援活動を行なうと共に、災害コーディネーターを担える人材育成に努めていきたい。

一般社団法人 大分県歯科衛生士会



会長
有松 ひとみ

I. 協会の現状 会員数 239名（平成30年3月31日現在）

3支部 県南地区（佐伯・津久見・臼杵） 豊肥地区（竹田・豊後大野） 日田地区

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

II-1 主催研修会

【歯周病研修会】

日時	内容	講師	人数
平成29年4月23日（日） 13:00～15:00 大原学園7階研修室	わかる！できる！ 歯肉縁上のプラークコントロール	在宅療養指導・口腔機能管理 認定歯科衛生士 大分県歯科衛生士会 会員 関 知子氏	39名

【摂食嚥下研修会】

平成29年8月20日（日） 9:30～12:40 ホルトホール大分	摂食嚥下障害とリスク管理	大分東部病院 リハビリテーション部 部長 森 淳一先生	39名
---	--------------	-----------------------------------	-----

【母子保健事業】

平成29年10月29日（日） 10:00～12:00 ホルトホール大分	いつから始める矯正治療 形態と機能の成長発育から考える	エンゼル歯科医院 酒井昭行先生	54名
---	--------------------------------	--------------------	-----

【地域ケア会議スキルアップ研修会】

平成29年5月14日（日） 10:00～12:00 男女参画プラザ アイネス	歯科診療所等における 医療安全管理対策 《救急処置、蘇生》	大分赤十字病院 救急法指導員 神取和也氏	28名
平成29年5月14日（日） 13:00～15:00 男女参画プラザ アイネス	高齢者・要介護者歯科保健 認知症サポーター養成講座	王子・大分西地域包括支援センター 職員 大石英弘氏	32名
平成29年6月11日（日） 16:30～18:30 ホルトホール大分	口腔ケア実践 ～居宅における口腔ケア～	大分県歯科衛生士会 会員 友枝康代氏	55名
平成29年7月23日（日） 13:00～15:00 ホルトホール大分	患者さんに長く関わるメンテナンス 研究発表の方法	広島大学大学院医歯薬保健学 講師 松本厚子先生	38名
平成29年12月3日（日） 14:00～16:30 別府ビーコンプラザ中会議室	診療室を核とした摂食嚥下障害への 基本技術と考え方 歯科衛生士が実施する摂食嚥下療法	日本大学歯学部 摂食機能療法学 教授 植田耕一郎先生	72名

【第3回大分県歯科衛生フォーラム】

平成29年10月1日（日） 9:30～15:00 男女参画プラザ アイネス	“歯科衛生士の明日を拓く” もっと歯科衛生士の仕事がすきになる10.1 ～歯科基本治療で歯周病とたたかう～	にしだわたる糖尿病内科 院長 西田 互先生	130名
		まきの歯科医院 院長 牧野 明先生	
		大分県歯科衛生士会 会長 有松ひとみ氏	

【県委託事業】

平成30年1月28日（日） 10:00～13:00 ホルトホール大分	障がい者歯科保健指導を 歯科衛生士の立場から考える	高田市こども発達センター 溝口理知子氏	55名
--	------------------------------	------------------------	-----

【復職支援 リカバリーセミナー】

平成30年2月18日（日） 9:30～12:40 大分県歯科医師会館	歯科衛生士の社会的使命と心得 歯科臨床における感染対策・医療安全 最近の歯科衛生士の仕事について 最近の歯科材料・器材	大分県歯科医師会 松成裕史先生 馬場一彰先生 大分県歯科衛生士会 中津留有香氏 岩崎ユカ氏	21名
--	--	--	-----

II - 2 後援・協力研修会 【抜粋】

- ①大分県地域包括ケア推進大会 11月11日(土) 大分県庁新館14階大会議室
特別講演:「地域包括ケアと地域共生社会」蒲原厚生労働事務次官
- ②第14回大分県地域リハビリテーション研究会、県リハ支援センター合同研修会
- ③第7回大分地域リハビリテーション・ケア研究会:テーマ「災害と地域連携」
1月21日(日) 別府ビーコンプラザ 国際会議場
- ④第21回第22回おいいた食のリハビリテーション研究会研修会
- ⑤大分県保健医療団体協議会(担当会:大分県看護協会)
11月12日(日) 第18回げんきフェア 3月11日(日) 講演会
- ⑥TOSすこやか家族博覧会 9月23日(土:祭日)

II - 3 講師派遣 【抜粋】

- ①地域包括ケアシステム推進事業(県内・県外)
- ②大分圏域介護予防事業及び口腔機能向上事業
- ③障がい児(者)施設含む県内市町村の母子事業及び地域支援事業
- ④大分県域リハ職等派遣事業

II - 4 会議出席 【抜粋】

- ①地域リハビリテーション関係 役員会 運営委員会
- ②行政関係(県及び市町村)
大分県8020運動推進協議会 大分県口腔機能向上栄養専門部会
大分県介護予防市町村支援委員会 各市町村母子保健委員会
大分県介護医療推進協議会 各保健所地域歯科保健検討会
- ③その他

II - 5 大分県歯科医師会(協力) 高齢者・障がい者訪問事業

- ①平成29年6月4日(日) 歯と口の健康週間(大分市2会場) 来場者633名
- ②平成29年9月9日(土) 特別養護老人ホーム 栄寿荘(豊後大野市)

II - 6 ボランティア活動 他

- ①別府市西別府病院 口腔ケアボランティア活動
- ②大分県域支援学校歯みがき指導ボランティア
- ③災害支援活動(避難所アセスメント、口腔保健指導、啓発ポスター、支援物資 他)
- ④認知症カフェ関連

III. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

超高齢社会、これから訪れる地域包括ケア時代の中で、歯科衛生士に求められる役割は多様化しつつあると感じています。健康寿命延伸し、自分らしく生を全うするためにも、各世代に通じる疾患予防や重度化防止が鍵となることは明白であり、専門性の発揮が期待されています。

また、昨年度から本年度においても、大分県では圏域各地で発災しました。過去から学んだ教訓を活かし、誤嚥性肺炎などによる災害関連死を起さないことを共通認識とすることで、多職種連携で初動から介入、アセスメント実施、個別支援、そして地域連携に繋がったことの成果は大きいと考えております。今後は、すぐ動ける体制づくりとして、リーダー研修会開催や支援歯科衛生士登録をすすめながら、地域住民の方々には、日常から歯や口腔を整えることこそ、平時の備えとして出来る食支援であり、命を守ることであることを伝えていきます。

大分県視能訓練士会



会長

安 田 昌 子

1. 会の現状

会員数 142名（平成30年5月1日現在）

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

〈他団体との共催・後援事業〉

- ・第14回大分県リハ支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会 合同研修会

日 時：平成29年7月9日（日）9：50～14：40

場 所：別府ビーコンプラザ3階 国際会議場

テーマ：わが町の地域課題解決に向けた地域リハビリテーションの在り方
スタッフにて参加

- ・センターまつり&げんきフェア2017

日 時：平成29年11月12日（日）10：00～14：30

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：眼の健康チェック，パネル展示（ブース来場者 約70名）

- ・第7回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

日 時：平成30年1月21日（日）10：00～15：00

場 所：別府ビーコンプラザ 3階 国際会議室

一般演題，およびスタッフにて参加

〈主催の研修会〉

- ・第8回勉強会

日 時：平成29年4月23日（日）10：00～12：00

場 所：大分視能訓練士専門学校

内 容：

(1) 講演

「神経眼科と斜視」

・対光反射（入力系の異常）

・斜視の手術（Faden手術が有効であった2症例）

田村 弘一郎 先生（大分大学医学部 眼科医）

参加者：43名

・第9回勉強会

日時：平成29年11月23日（木・祝）10：00～12：00

場所：大分視能訓練士専門学校

内容：一般演題

「見えない・見えにくい人への生活支援」

神屋 郁子（大分県盲人協会，歩行訓練士，視能訓練士）

「大分市の平成28年度3歳児健康診査における視覚検査結果について」

小田原 純平（大分市保健所，保健師）

「大分市における弱視の検討」

松永 建司（大分大学医学部附属病院 眼科，視能訓練士）

参加者：37名

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

まだ地域リハ活動について各会員の意識が低く，十分に理解していないというのが現状です。更に，会員向けに地域リハ活動への参加を呼びかけ，会として少しでも貢献できればと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

会長
深見 憲一

1 会の現状

会員センター 58センター

- ・地域包括支援センター 49センター
- ・在宅介護支援センター 4センター
- ・地域総合相談支援センター 5センター

2 主な活動・取り組み

(1) 研修会等の開催

平成29年度大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター研修会

日時 平成30年2月19日(月)

会場 大分県総合社会福祉会館 4階 大ホール

参加 61名

内容 講義・情報交換

「地域共生社会の実現に向けた地域包括支援センターの役割」

講師：同志社大学 社会学部社会福祉学科 准教授 永田 祐 氏

(2) ブロック活動

各市町村ブロック組織での研修会や介護等の活動に対する支援

3 情報提供

他機関が実施する各種研修会への参加案内

4 関係機関・団体との連携

(1) 県内関係機関・団体との連携

県内関係機関・団体の会議等への出席

(2) 県との協調・支援

(3) 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会との協調・支援

大分県地域リハビリテーション研究会



会長

武居光雄

I. 研究会の現状

- 会 長：武居光雄
- 副 会 長：三浦晃史、有松ひとみ
- 幹 事：各団体より代表者1名
- 監 事：長岡博志、陶山直昭
- 顧 問：根橋良雄、原田禎二、本田昇司
- 名誉顧問：有田 眞、佐竹孝之
- 所属団体：17団体

大分県地域リハ医師懇話会	(公社)大分県理学療法士協会	(公社)大分県作業療法協会
(公社)大分県言語聴覚士協会	(公社)大分県看護協会	(公社)大分県薬剤師会
(公社)大分県栄養士会	(公社)大分県放射線技師会	(公社)大分県臨床工学技士会
(公社)大分県臨床検査技師会	(一社)大分県歯科医師会	(一社)大分県歯科衛生士会
(一社)大分県介護福祉士会	大分県臨床心理士会	大分県介護支援専門員協会
大分県医療ソーシャルワーカー協会	大分県視能訓練士協会	

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

①第14回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会の開催（共催）

日 時：平成29年7月9日（日）

会 場：B-CON PLAZA 別府国際コンベンションセンター 3F 国際会議室

参加者：213名

②第7回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会交流会の開催

日 時：平成30年1月20日（土）

会 場：レンブラントホテル大分 2F 二豊の間

参加者：69名

招待者：大分県福祉保健部 参事監兼健康づくり支援課長 藤内修二氏

虎龍山 吉祥寺 住職 高橋英悟氏

第7回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会 シンポジスト（3名）

③第7回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

日 時：平成30年1月21日（日）

会 場：B-CON PLAZA 別府国際コンベンションセンター 3F 国際会議室ほか

参加者：142 名

テーマ：『災害と地域連携』

▶ 基調講演

「人生とは～東日本大震災から学ぶ命の尊さ～」

講 師：虎龍山 吉祥寺 住職 高橋英悟氏

▶ シンポジウム

テーマ：『災害と地域連携』

シンポジスト① 大分県リハビリテーション支援センター 會川裕子氏

シンポジスト② (一社)大分県歯科衛生士会 三ノ宮美紀氏

シンポジスト③ 大分県西部保健所 所長 池邊淑子氏

④名義後援

▶ 第12回九州臨床工学会・第9回大分県臨床工学会（平成29年9月30日～10月1日）

▶ 第35回大分県病院学会（平成29年11月19日）

▶ 平成29年度全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会ブロック大会 in 大分（平成30年2月24日）

⑤広報誌の発行

第24号：電子版配信（平成30年3月31日発行）

⑥運営部会の開催

第1回：平成29年6月27日（火）

第2回：平成29年8月22日（火）

第3回：平成29年10月2日（月）

第4回：平成29年12月11日（月）

第5回：平成30年3月12日（月）

⑦役員会の開催

第29回：平成29年6月5日（月）

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域包括ケアシステム構築に向けて大分県地域リハビリテーション研究会に所属する会員団体はそれぞれ本格的に準備を開始している。各職能団体が横の糸として大分県各圏域の中学校区における包括ケアシステムが上手く機能するように、病病連携、病診連携、介護・保健との縦の連携も含めて構築し、高齢者、障害者、障害児等の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように協力を惜しまない。

一般社団法人 大分県病院協会



会長

川 眞 人

I. 協会の現状

1. 病院協会の現状（H30. 3.31 現在）

(1) 会員数 128 病院

(2) 構 成

・ 会 長 川 眞 人（川 眞 整形外科病院）

・ 副会長 畑 洋一（畑 病院）

・ 副会長 小寺 隆（佐伯中央病院）

・ 地区毎の理事、及び所属病院数

県北（所属病院数 24） 理事 川 眞 人、佐藤仁一、瀧上 茂

別杵（所属病院数 24） 理事 畑 洋一、黒木健次、山本記顯

大分（所属病院数 47） 理事 武居光雄、井野邊純一、帆秋善生、秋満忠郁、立川洋一

久大（所属病院数 19） 理事 山本 亨、山下太郎

豊肥（所属病院数 4） 理事 大久保健作

県南（所属病院数 10） 理事 小寺 隆、曾根 勝

・ 監 事 豊田貫雄、長松宜哉

・ 顧 問 岡 宗由

・ 参 与 野口志郎

2. 活動の重点項目

1) 医の倫理とリスクマネジメントの高揚

2) 各病院の診療機能を活かした質の向上と効率化の徹底

3) 行き届いた患者サービスの向上と思いやりのある医療を目指す

4) 各病院のIT化とITネットワーク情報システムの構築

5) 患者中心の連携システムの向上

6) 地域リハビリテーションの推進

7) 病院機能評価への挑戦と対応

8) 各種研修会による全病院職員の質的、能力的向上、責任を持って仕事を遂行する意欲の向上

9) 会員相互の親睦と信頼性、連帯感の向上

10) 来るべき大災害に対して十分に備える医療

11) 地域包括ケアシステムの構築に備える

12) 地域医療介護総合確保基金（医療分）に対する取り組み

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

A. 病院協会の活動報告

1. 平成 29 年度一般社団法人大分県病院協会 定時社員総会
 - ・開催日時 平成 29 年 6 月 24 日土曜日 午後 3 時
 - ・場 所 レンブラントホテル大分 2F 二豊の間（大分市田室町 9-20）
 - ・特別講演 参加者 57 名
2. 理事会 計 5 回開催
3. 第 35 回大分県病院学会 実行委員会 計 2 回開催
第 35 回大分県病院学会 運営委員会 計 10 回開催
4. 第 35 回大分県病院学会
 - ・開催日時 平成 29 年 11 月 19 日（日） 8：40～16：00
 - ・場 所 別府市山の手町 別府ビーコンプラザ
 - ・学会テーマ 「敬天愛人 ～最高のリスク管理と最高のサービスを地域社会へ～」
 - ・参加人員（概数） 計 2,449 名
 - ・特別講演 「厚生行政の“風”を読む ～中小民間病院の延命策を考える～」
 - ・教育講演 「熊本地震 何が起こり、何を行ったか
－エコノミークラス症候群対応を中心に－」
 - ・分科会 演題総数 177 題 （口演 62 題・ポスター 104 題）
5. 名義後援
 - ・大分県地域リハビリテーション研究会 15 周年記念交流会
 - ・平成 29 年度大分県在宅医療推進フォーラム
 - ・第 28 回大分県老人保健施設大会
 - ・第 23 回大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会
 - ・第 7 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会 他

B. 部会（コメディカル部門）の活動報告

1. 事務部会
 - ・研修会 計 2 回開催、委員会 計 1 回開催
2. 看護部会
 - ・研修会 計 2 回開催、委員会 計 3 回開催
3. 栄養部会
 - ・研修会 計 3 回開催、委員会 計 4 回開催
4. 社会福祉部会
 - ・研修会 計 1 回開催、委員会 計 5 回開催

III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域包括ケアシステム構築に向けて本格的に準備を開始。大分県病院協会に所属する会員病院が大分県各圏域の中学校区における基幹病院としての役割を果たし、病病連携、病診連携、介護・保健との連携も含めて構築し、県民（高齢者、障害者、障害児等）の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように協力を惜しまない。また、災害時の医療拠点として、JMAT、AMAT 及び大分 JRAT にも総力を挙げて協力する体制を構築している。

公益社団法人 大分県放射線技師会



会長

江 藤 芳 浩

I 本会の現状

会員数 355 名（平成 30 年 3 月 31 日現在）

主な事業

- 1) 県民への正しい放射線の知識の普及と啓発に関する事業
- 2) 放射線の管理及び障害防止の調査研究に関する事業
- 3) 診療放射線学の向上に関する研究及び指導に関する事業
- 4) 地域保健医療及び公衆衛生事業の推進と協力に関する事業
- 5) 放射線災害時に対応できる放射線測定技術者育成のための放射線量測定事業
- 6) 本条の主旨を目標とした図書印刷物の刊行

II 事業

1. 大分県放射線技師会学術大会

1) 平成 29 年度大分県放射線技師会総会 学術講演会

日時：平成 29 年 5 月 27 日（土） 場所：大分三愛メディカルセンター「大会議室」
＜特別講演＞ 『骨粗鬆症や認知症などの診断と治療』

大分大学医学部附属病院 総合診療部 講師 吉岩あおい 先生

2) (公社) 大分県放射線技師会第 23 回学術大会

日時：平成 29 年 11 月 25 日（土） 場所：大分記念病院「多目的ホール」
テーマ 「末梢血管の診断と治療」

＜施設発表＞

「下肢 CTA について」 南海医療センター 放射線科 簗戸良祐

「下肢 MRA について」 白杵コスモス病院 放射線部 奥崎一利

「EVT における画像支援について」 大分岡病院 放射線課 小松 豊

＜特別講演＞ 「末梢動脈疾患の診断と治療」

南海医療センター 循環器内科 石川 敬喜 先生

2. レントゲン週間イベント

市民公開イベントの第 14 回レントゲン週間イベントを、平成 29 年 10 月 29 日（日）、交流ひろば HiCaLi（日出町）にて開催した。開催内容は、超音波操作体験、放射線被ばく相談、栄養相談、乳がん自己検診啓発、エコー体験、骨密度測定、CT 3D 画像、パネル展示他。

3. 学校訪問授業

大分県内の 5 校を訪問し、学生に正しい放射線および放射線医療に関する授業を行った。

- ・ 藤華医療技術専門学校リハビリテーション科 平成 30 年 1 月 17 日（水）
- ・ 藤華医療技術専門学校看護科 3 年 平成 30 年 1 月 29 日（月）
- ・ 藤華医療技術専門学校看護科 1 年 平成 30 年 2 月 5 日（月）
- ・ 大分県消防学校 平成 30 年 2 月 26 日（月）
- ・ 大分市立小佐井小学校 平成 30 年 3 月 2 日（金）

4. 大分県保健医療団体協議会活動

1) 平成 29 年度「センターまつり & 元気フェア 2017」

日程 平成 28 年 11 月 12 日 (日) 場所 大分県社会福祉介護研修センター

内容 マンモ触診疑似体験・相談、マンモ自己検診パンフレットの配布、骨密度測定

2) 平成 29 年度 大分県保健医療団体協議会研修会

日程 平成 30 年 3 月 11 日 (日) 場所 大分県看護研修会館「大研修室」

テーマ「笑いの現場から学ぶ～ひとを喜ばせる・輝かせるコミュニケーション～」

講師 W マコト

5. 平成 29 年度九州地域放射線技師研修会

日時：平成 29 年 12 月 9 日 (土) 会場：ホテル熊本テルサ 3F「たい樹南」

＜特別講演＞ 「事業継続計画 (BCP) とリスクマネジメント」

阿蘇医療センター 院長 甲斐 豊

＜テーマ討論＞ テーマ「災害時救急において診療放射線技師がすべきこと」

・「災害時疾患の特徴と CT 検査の役割」

・「救急外傷患者の一般撮影」

・「放射線部門における緊急・災害時対応と未来に向けての展開について」

6. 第 25 回大分県放射線技術研究会

日時：平成 29 年 11 月 11 日 (土)

場所：大分大学医学部附属病院 高度救命救急センター 4 階「大会議室」

＜特別公演 I＞ 「一般撮影・CT 領域における読影補助」

東千葉メディカルセンター 診療放射線技師長 梁川範幸

＜特別公演 II＞ 「医療における眼の水晶体に対する線量評価」

放射線医学総合研究所 赤羽恵一

7. 大分県放射線管理研究会

日程：平成 29 年 11 月 14 日 (火) 場所：別府港、佐賀関港

「放射線災害対応訓練 (関係機関合同訓練)」

8. 第 14 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会

日程：平成 29 年 7 月 9 日 (日) 場所：別府ビーコンプラザ「国際会議場」

テーマ 「わが町の地域課題解決に向けた地域リハビリテーションの在り方」

＜講演＞ 「平成 30 年医療・介護保険同時改定からみる、これからの地域リハビリテーションに期待すること」

厚生労働省・老健局 石井義幸

＜シンポジウム＞ 「地域ぐるみで地域包括ケアを構築する～事業の立ち上げ、連携、実践の工夫～」

シンポジスト 厚生労働省老健局総務課課長補佐 石井義恭

臼杵市医師会立コスモス病院 副院長 舩友一洋

竹田市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 本田直美

大分県高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 主事 阿部幸平

9. 第 7 回大分地域リハビリテーション・ケア大会

日程：平成 30 年 1 月 21 日 (日) 場所：別府ビーコンプラザ「国際会議場」

テーマ 「災害と地域連携」

＜基調講演＞ 「人生とは～東日本大震災の現場から学ぶ命の尊さ～」

曹洞宗吉祥寺住職 高橋英悟

＜シンポジウム＞ 「災害と地域連携～九州北部豪雨災害を経験して～」

シンポジスト 大分県リハビリテーション支援センター事務長兼運営部長補佐 曾川裕子

(一社) 大分県歯科衛生士会 三ノ宮美紀

大分県西部保健所所長 池邊淑子

公益社団法人 大分県薬剤師会



会長
安東 哲也

1. 会の現状

会員数 1,507 名（平成 30 年 5 月 1 日現在）

当会は、「患者のための薬局ビジョン」に基づき、地域包括ケアシステムへの参画、かかりつけ薬剤師・薬局、健康サポート薬局の構築に向けての事業および研修会を開催した。併せて大分県が進めている県民の健康づくりの「健康寿命日本一おおいた」に向け、おうえん企業として積極的な参画など、地域・職域薬剤師会との連携の下、組織強化を図り、県民の健康な生活環境の確保・向上に寄与していくことを目的とした事業等を行った。

2. 地域リハ活動の報告

(1) 平成 29 年度地域ケア会議への参加

期 日：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

場 所：大分県各市町村

参加者：87 名

(2) 研修会等の開催

① 在宅研修会（大分県共催）の開催

第 1 回在宅研修会

期 日：平成 29 年 7 月 27 日（木）

場 所：県薬会館 3 階 研修ホール

参加者：81 名

講 師：徳島文理大学薬学部教授 瀬川 正昭先生

「地域と共に」

第 2 回在宅研修会

期 日：平成 29 年 9 月 9 日（土）

場 所：県薬会館 3 階 研修ホール

参加者：77 名

講 師：有限会社丸山薬局 大石 和美先生

「地域包括ケアから地域まるごと支え合いへ」

第 3 回在宅研修会

期 日：平成 29 年 10 月 15 日（日）

場 所：県薬会館 3 階 研修ホール

参加者：51名

講師：三重大学・名城大学講師 久田 邦博先生

「地域活動におけるコミュニケーションスキル～話すスキルにはコツがある～」

② 薬剤師認知症対応力向上研修会（大分県委託事業）の開催

期 日：（第1回）平成29年11月5日（日）9：30～

（第2回）平成30年1月14日（日）9：30～

場 所：県薬会館3階研修ホール

講 師：（第1回）日田市医師会理事 隈診療所 院長 宮崎秀人先生

（第2回）大分県医師会常任理事 杉原診療所 院長 井上正公先生

（以下第1・2回研修会ともに講演）

大分県認知症介護指導者会

ケアグループなでしこ代表取締役 吉川浩之氏

大分県高齢者福祉課地域包括ケア推進班 主幹 川井 梨沙氏

大分大学医学部附属病院 薬剤部 佐藤 雄己先生

参加者：（第1回）37名（第2回）24名

(3) 会議・協議会・研修会への参画

① 大分県地域リハビリテーション研究会等への参画

- 役員会ならびに運営部会への参加

期 日：平成29年5月～平成30年2月（計7回）

場 所：井野辺病院等

出席者：友松 茂喜 常務理事・酒井 浩一 理事・児玉 淳 委員

- 大分県地域リハビリテーション・ケア大会

期 日：平成30年1月21日（日）

場 所：別府ビーコンプラザ

出席者：友松 茂喜 常務理事・酒井 浩一 理事・児玉 淳 委員

(4) 沖縄県リハビリテーション専門職対象研修会への参画

期 日：平成30年1月14日（日）

場 所：沖縄リハビリテーション福祉学院

参加者：長野 曲来 委員

(5) 地域服薬健康相談事業（大分県委託事業）への参画

期 日：平成29年5月～平成30年3月

場 所：無薬局地域（高齢者サロン等から1km圏内に薬局がない地域）

内 容：薬剤師によるお薬健康講座・お薬健康相談を計53回実施

3. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

地域包括ケアシステムの構築に向けて、薬剤師の職能を発揮すべく、研修会等を開催し資質向上を行うとともに、積極的に多職種と意見交換を行い、より連携を高められるよう努める。

かかりつけ薬剤師・薬局の資質の向上と在宅・介護の構築をはじめ、大分県医療計画・生涯健康県おおいた21などの目的達成に向けた施策等々を地域・職域薬剤師会との連携のもと遂行する。

公益社団法人 大分県理学療法士協会



会長

河野 礼治

I. 会の状況（H 30. 3. 31 時点）

[1] 会員数：1,609 人

[2] 支部構成：6 ブロック（大分，別杵速見，県北，県南，久大，豊肥）

II. 地域リハ関係の活動

[1] 地域医療，地域保健及び社会福祉への協力に関する事業

1. 職場における腰痛予防セミナー
2. 平成 29 年度健康寿命日本一大分推進フォーラムへのブース出展「育児における腰痛対策」
3. ナイトセミナー・トランスファー研修会「起居移乗の動作介助技術」
4. 理学療法士の活動について啓発事業（公開講座）「運動で体力低下を防ごう！」
5. ナイトセミナー・ウィメンズヘルス研修会
6. 大分県保健医療団体協議会主催「げんきフェア」・介護研修センターまつりへの協力
①健康年齢チェック②体操指導③タペストリー展示④理学療法に関する相談会④記念品等の配付

[2] 行政等他組織の事業への協力・支援

1. 福島県高齢福祉課主催 大分県の地域ケア会議施設における意見交換会への専門職派遣
2. 山形県社会福祉協議会主催 自立支援型地域ケア会議関連事業意見交換会
3. 大分県地域保健協議会主催 第 5 回大分県地域包括ケア推進大会
4. 大分県地域リハビリテーション研究会第 7 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会
5. 株式会社 マイナビ 「九州夢大学」
6. 大分県介護福祉士会 宇佐支部研修会 「職員の腰痛予防について」
7. 国東市医療保健課 事業所への運動講習
8. 大分県シニア雇用推進協議会セミナー講師
9. 小池原福招苑 研修会 「職員に対する移乗介助方法の指導」
10. 大分県スポーツ学会 スポーツ救護講習会「スポーツと運動器疾患の実技」の講演
11. 大分県体育協会スポーツ医科学研修講座 大分県アーチェリー協会向け講師
12. 29 年度公益財団法人大分県体育協会スポーツ医科学研修講座 大分県カヌー協会向け講師
13. 介護労働安定センター健康確保ヘルスカウンセラー 介護労働者向健康管理・腰痛予防 全 10 回
14. 大分県医療マネジメント学会 第 18 回大分県支部学術集会シンポジウム
15. 大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会
16. 大分県社会福祉介護研修センター サービス計画担当者研修会（応用編）通所・訪問事業所各 3 回
17. 大分県社会福祉介護研修センター 介護職員現任者研修（基礎課程）通所・訪問事業所
18. 社会福祉介護研修センター 介護職員現任者講習会（応用過程）通所介護事業所
19. 大分県高齢者福祉課主催 地域の介護予防活動支援のための講師支援養成研修会「運動機能の向上について」
20. 大分市長寿福祉課主催 地域リハビリテーション活動支援事業（大分サロン） 全 6 回
21. 大分市長寿福祉課主催 通所型サービス事業所実践力向上研修会
22. 大分市長寿福祉課主催 訪問型サービス事業所実践力向上研修会

23. 鹿児島県鹿屋市地域包括支援センター主催 自立支援型地域ケア会議研修会
24. 株式会社ライフリー主催 関節機能改善から生活機能向上を目指す
25. 九州先端リハビリテーション・ケアクラスター推進機構 ニーズ・シーズ意見交換会での報告会
26. 国東市一般介護予防事業（週一元気アップ教室）全2回
27. 熊本地域リハビリテーション支援協議会主催 自立支援プロジェクト人材育成研修会
28. 大分県高齢者福祉課主催 大分県元気アップ体操交流大会
29. 滋賀県米原市暮らし支援課主催 介護支援専門員・サービス提供事業者研修会
30. 滋賀県理学療法士会主催 第2回湖北ブロック地域包括ケア研修会
31. 竹田市主催 介護保険サービス事業所実践力向上研修会
32. 日出町主催 介護保険サービス事業所実践力向上研修会「運動機能向上プログラム」
33. 福島県本宮市主催 公開自立支援型地域ケア会議及び研修会 全2回
34. 由布市健康増進課主催 介護予防事業に係る専門職派遣「尿失禁予防」全4回
35. 熊本地域リハビリテーション支援協議会主催 自立支援プロジェクト人材育成研修会
36. 奈良県理学療法士協会 介護予防・日常生活支援総合事業と地域ケア会議研修会
37. 山口県宇部市ケアマネジメント研修会
38. 介護認定審査会への認定委員派遣 大分市、日田市、宇佐高田地域、豊後大野市、中津市
39. 障害者介護給付費等認定審査会委員 宇佐市、日田市、大分市
40. 地域ケア会議専門職種派遣
41. 大分県社会福祉協議会 社会福祉施設経営指導事業
42. 大分県体育協会優秀指定選手メディカルチェックの協力 全8回

[3] 理学療法の知識の普及・啓発に関する事業

1. 平成29年度理学療法週間事業の開催（一般県民向：健康年齢チェック、タペストリー展示、理学療法に関する相談会、記念品の配布、高校生対象の施設見学、月刊ぶらざ掲載、イベントポスターの作成・設置、大分バス車両ポスター作成）
2. 広報誌「志（こころざし）Vol. 8」発行 2,000部（A4サイズ、カラー8ページ）
3. 知りたい自分のカラダ～介護予防・健康増進キャンペーン開催
4. ニュース「あおぞら」発行及び発送（発行部数2,050部／発行回数年04回／会員、会員所属施設、賛助会員、行政、マスコミ関係、関係団体へ送付）

[4] 地域リハビリテーションの理解と実行に向けた事業

1. 関係会議、研修会運営等への出席派遣：大分県地域リハビリテーション研究会 運営部会、第14回大分県リハビリテーション支援センター・地域リハビリテーション研究会合同研修会、第8回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会交流会・研究大会
2. 推進リーダー導入研修：①地域包括ケア：地域ケア会議に求められる理学療法、事例演習、模擬会議他②介護予防：介護予防事業の展開方法介護予防の実践、介護予防事業の企画立案 他
3. 産業理学療法研修会開催：介護労働者の腰痛予防対策指針を踏まえた指導のポイント
4. 地域包括ケアシステム構築に向けた人材育成委託事業研修会 全10回

Ⅲ. 地域リハの活動における課題・今後の取り組み

平成28年度は、社会的ニーズとして地域ケア会議の助言者や高齢者の介護予防について対応を求められていましたが、平成29年度は市町村事業だけでなく地域住民主体のサロン活動への支援活動へとシフトしてきました。また、健康及び就労寿命の延伸を目的として、事業所や企業に向けた腰痛や肩こり予防などについても需要が高まっています。そのような中、専門的職視点でなく、地域住民や就労されている方々の視点に立って専門知識が活用できる人材育成が必要となっています。

今後は、より一層、幅広い地域リハ活動に向けて、これらの社会的ニーズの変化に対応できるよう組織体制と人材育成をおこなっていきます。

公益社団法人 大分県臨床検査技師会



会長

佐藤元恭

当会は、現在約790名の会員を抱え、学術部、企画部、組織部により会員の専門的知識の向上や地区会員との交流を深める活動を行っている。また、企画部を中心に公益事業を開催し、職能集団として一般の方を対象に臨床検査についての理解を深めてもらうための広報活動を行っている。

今年度の公益事業は、日臨技委託公益事業として全国「検査と健康展」を11月に開催した。大分県臨床検査技師会の主催では、“がん予防啓発”、エイズ予防啓発を行い、さらに他の医療団体との活動では、保健医療団体協議会（11団体共催）による“げんきフェア”に協力し、大分地域リハビリテーション研究会の活動としては、「大分県リハ支援センター・地域リハ研究会合同研修会」「大分地域リハビリテーション研修会」（16団体共催）の活動や、各地域の市町村で開催される健康イベントへの協力を行った。また、今年度は、新たに大分県保険医協会主催の「街角無料健康チェック・相談」協力した。

<全国検査と健康展>

日時：平成29年11月23日（木） 場所：Iichiko 総合文化センター アトリウム広場

<がん予防啓発事業：リレーフォーライフ大分2017>

日時：11月3日（金曜日）10時00分～ 4日（土曜日）11時00分

場所：大分スポーツ公園「大芝生広場」 参加チーム名「検査deみつけ隊」

<大分県保健医療団体協議会活動>

○平成29年度「センターまつり&げんきフェア」

日時：11月12日（日） 9:00～16:00 場所：大分県社会福祉介護研修センター

◎大分県保健医療団体協議会会員向け研修会

日時：3月11日（金） 13:30～14:30 場所：大分県看護協会

『笑いの現場から学ぶ ひとを喜ばせる・耀かせるコミュニケーション』 講師：Wマコト

<大分県保健医協会活動>

○平成29年度「街角無料健康チェック・相談」

日時：7月23日（日） 10:00～15:00 場所：Iihiko 総合文化センターアトリウムプラザ

<大分県地域リハビリテーション研究会>

第14回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会

日時：7月9日（日） 9:50～14:40 場所：別府ビーコンプラザ

テーマ：「わが町の地域課題解決に向けた地域リハビリテーションの在り方」

第7回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

日時：1月21日（日） 9：30～15：30 場所：別府ビーコンプラザ

テーマ：「災害と地域連携」

「当院における災害時の輸血」 アルメイダ病院 結城 孝子氏

「大分から熊本被災地への活動報告 ～これからの課題～」 アルメイダ病院 加藤 由希子氏

市町村関係

< 第2回竹田市 市民公開講座 >

日時：9月3日（日） 10：00～12：30 場所：竹田市 竹田久住公民館

< 第21回日田市健康福祉まつり >

日時：10月8日（日） 9：30～15：30 場所：パトリア日田

< 別府市 CKD 予防イベント >

日時：12月3日（日） 9：30～13：30 場所：別府ビーコンプラザ

< この他の事業 >

臨床検査精度管理事業

大分県医師会に協力し、大分県下の医療機関を対象にした精度管理事業を実施している。この事業は、『大分県医師会精度管理調査』と『臨床検査データ標準化事業』の2本柱で実施しています。大分県医師会精度管理調査は30年、臨床検査データ標準化事業は11年の実績があり、医療機関の臨床検査の質の向上と維持に欠かせない事業となっています。また、今年度は医療法改正により、検体検査を実施している医療機関に対して精度保証を担保とした精度管理を始め、標準作業書3種類、作業日誌2種類、台帳等の作成が求められている。会としては、定期的に研修会等を開催し、対応したいと考えている。

組織部・学術部の活動としては、大分地区2回、別杵地区3回、県北地区5回、県南・豊肥地区3回、県西地区5回と地区合同研修会1回の研修会を開催し、最新の検査技術やチーム医療での院内感染や救急医療など多岐に渉る研修会の中で、臨床検査技師に必要な情報などの研修を行った。

学術部においては9部門が年間、47回の生涯教育研修会を開催し延べ1,692名が参加した。

生物化学分析部門	4回	染色体・遺伝子部門	1回
臨床微生物部門	3回	輸血細胞治療部門	4回
臨床生理部門	14回	臨床血液部門	5回
臨床一般部門	3回	病理細胞部門	11回
臨床検査総合管理部門	2回		

おわりに

今後も他団体との共同開催の公益事業には、積極的に活動できる体制を整えて、特に各市町村での健康イベントには、開催目的を確認した上で、希望に沿った検査内容を提案していきたい。

また、他職種連携医療のチーム医療に積極的に参画することで、医療の質の向上、真の患者のための医療提供に貢献し、専門性を生かして活躍できる人材育成の研修会に取り組まなければならないと考える。

公益社団法人 大分県臨床工学技士会



理事長
小 川 一

会の現状

会員数 330 名（平成 30 年 4 月 27 日現在）

平成 29 年度主な活動と取組

I. 学術技能に関する事

1. 教育セミナーの開催 血液浄化・呼吸器・循環器・代謝の 5 件を開催した。
2. 平成 29 年 9 月 16 日 トキハ会館
第 36 回大分人工透析研究会支援参加協力
3. 第 12 回九州臨床工学会及び第 9 回大分県臨床工学会の開催
日時：平成 29 年 9 月 29 日（金）～ 10 月 1 日（日）
場所：ホルトホール大分, 明日香美容文化専門大学校 参加者 979 名
4. 第 12 回九州臨床工学会市民公開講座の開催
日時：平成 29 年 10 月 1 日（日） 場所：ホルトホール大分 小ホール
司会 岩崎 朋美様
演者 医療法人恵愛会 中村病院 佐藤 朋子様
大分県臓器移植コーディネーター 小野 美代子様
「臨床工学技士紹介 / 移植を支える人たち」

II. 関連団体との交流に関する事

1. 災害対策に関する事

- 平成 29 年 9 月 1 日 ・日本透析医会「災害時情報伝達訓練」
・“おおいた医療情報ほっとネット”を利用した災害時情報入力訓練に協
力（大分県福祉保健部健康づくり支援課と連携）
- 平成 29 年 9 月 2 日 「大分県透析医療 第 3 回災害を考える日」を開催
“大分県臨床工学技士会の取り組み”を報告
- 平成 29 年 9 月 16 日 大分人工透析研究会
・大分県透析施設災害対策アンケートの集計結果報告
・災害対策マニュアルの紹介
- 平成 29 年 9 月 30 日 第 12 回九州臨床工学会
・“大分県臨床工学技士会における災害対策委員会の活動報告”について報告
- 平成 30 年 1 月 21 日 第 7 回大分県地域リハビリテーション・ケア大会

・“大分県臨床工学技士会における災害対策の取り組み”について報告

平成 30 年 2 月 大分県腎臓病協議会 機関誌「ゆふ」にて活動報告

2. 各医療保険団体と交流を図り県民への公益事業を行う

(1) 大分県地域リハビリテーション研究会

- 第 14 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会

日時：平成 29 年 7 月 9 日（日） 場所：別府ビーコンプラザ

テーマ「わが町の地域課題解決へ向けた地域リハビリテーションの在り方」

シンポジウム「地域ぐるみで地域包括ケア構築する事業の立上げ、連携、実践の工夫」スタッフ派遣

- 第 7 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

日時：平成 30 年 1 月 21 日（日） 場所：別府ビーコンプラザ 3F 国際会議場

テーマ「災害と地域連携」

基調講演：高橋英悟様「人生とは～東日本大震災から学ぶ命の尊さ～」

シンポジウム「災害と地域連携～九州北部豪雨災害を経験して～」

一般演題として 2 演題の口述発表：田邊裕司・姫野栄一 運営スタッフを派遣

(2) 他職種および他県の技士会員との交流・意見交換

- ランニング部活動（他職種とのスポーツによる交流）

日時：平成 29 年 9 月 18 日 大分リレーマラソン 2017 in 大分銀行ドーム 参加

- 大分県臨床工学会キッズセミナー

日時：平成 29 年 10 月 1 日 第 12 回九州臨床工学会ホルトホール 1 階 特設会場

- センターまつり&げんきフェア 2017 開催

日時：平成 29 年 11 月 12 日 大分県社会福祉介護研修センター スタッフ派遣

- 大分県保健医療団体協議会 研修会への参加及び運営協力

日時：平成 30 年 3 月 11 日 看護研修会館 テーマ「医療コミュニケーション」

地域リハビリテーション活動における課題・今後の取り組み

- 現在、病院で行われている維持透析や人工呼吸管理も今後は地域包括ケアシステムの構築が進み在宅での普及が見込まれます。臨床工学技士として患者教育やハード面を中心とした体制の構築等に職能が発揮でき、在宅においても病院同様に医療の質及び安全の担保に努め社会貢献を目指してまいります。

大分県臨床心理士会



会長

小 野 貴美子

1. 会の現状

正会員 255名（平成30年4月末 現在）

〔部門〕研修、子育て・発達支援（福祉）、学校臨床、産業組織、医療保健、被害者支援、倫理、広報、代議員、事務局

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

(1) 会議への参加

- ・第15回拡大運営会議 平成29年5月30日（出席者：羽坂雄介）
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 29年度の役員会議・運営会議 井野辺病院
役員会：年2回（出席者：佐藤晋治会長） 運営部会：年3回（出席者：羽坂雄介）

(2) 研修会の参加・発表

- ・第14回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会 合同研修会
日 時：平成28年7月9日（日） 場所：別府ビーコンプラザ 国際会議室
内 容：「わが町の地域課題解決に向けた地域リハビリテーションの在り方」
*参加：羽坂雄介（湯布院病院）
- ・一般社団法人 日本臨床心理士会 第8回 医療保健領域担当者研修会
日 時：平成29年11月26日（日）10：00～16：00
場 所：日本臨床心理士会 研修室（東京都文京区本郷）
内 容：「専門職の協同の可能性を追求する～開業助産婦による地域活動のご紹介を通して」
講師：川島助産院 川島広江先生（千葉市）
 - ・各県の取り組み報告：秋田県、兵庫県
 - ・グループ討論「今後医療領域における心理職はどうしなっていると良いか？」*参加：加藤真樹子（大分県厚生連鶴見病院）
- ・第7回大分県地域リハ・ケア研修大会
日 時：平成30年1月21日（日） 場所：別府ビーコンプラザ 国際会議場
テーマ 「災害と地域連携」
 - ・発表「平成28年熊本・大分地震における当院での取り組み報告
～臨床心理士の立場から～」 発表者：宮越彩矢香

・発表「大分県臨床心理士会の災害発生時連絡体制の検証」 発表者：御手洗隆史

*参加：羽坂雄介（運営部員）

*懇親会（1月20日）参加：羽坂雄介、宗申也、宮越彩矢香、北吉直子

(3) 自主研修会の開催（大分県臨床心理士会主催 大研修会となる）

日 時：H29年9月10日（日）10：00～16：00

場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス

テーマ：「働く人のメンタルヘルスとリワーク支援」

講 演：「働く広野メンタルヘルス支援 – 職場復帰支援とリワークの基本論と実践について –」

講師：松浦真澄（東京理科大学、(医社) ころとからだの元氣プラザ）

事例発表：「働く人のメンタルヘルス支援 – 産業領域からの事例 –」

山口直子先生（旭化成）

事例発表：「リワークの経験から、再発予防策としての『間』を身につけられた、休職者の復職過程」

吉里恒昭先生（河村クリニック）

●司会進行 加藤真樹子、北吉直子

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成30年9月9日に、国家資格「公認心理師」の第1回目の試験が実施され、平成31年度から「公認心理師」が誕生いたします。今後、病や障がいを抱える人々への心のケアや生活を視野に入れた関わり（心理的支援、家族支援、地域医療や在宅に携わるスタッフへのメンタルサポートなど）を強化し、地域医療サービスを担う一員として貢献したいと思います。また「地域包括ケアシステム」や「アウトリーチ活動」などにチームの一員として活動していけるよう努力し、地域リハ活動に参加していく会員を増やしていきたいと考えています。

平成30年度もより一層他職種との協働と連携を図り、地域で必要とされる職種を目指して努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

連絡先一覧

1. 県リハセンター・広域支援センター

○大分県リハビリテーション支援センター（県リハセンター）

独立行政法人 地域医療機能推進機構 湯布院病院 （旧：湯布院厚生年金病院） 〒 879-5193 大分県由布市湯布院町川南 252 TEL (0977-84-3171) FAX (0977-85-5880)

○大分県地域リハビリテーション広域支援センター

圏域	地域	施設名	所在地	TEL/FAX
東部	東国東	国東市民病院	大分県国東市安岐町下原 1456	0978-67-1211 0978-67-3190
	別杵速見	農協共済別府リハビリテーションセンター	大分県別府市鶴見 1026-10	0977-67-1711 0977-67-1712
中部	大分	井野辺病院	大分県大分市中尾 255 番地	097-586-5522 097-586-5656
		大分リハビリテーション病院	大分県大分市大字志村 字谷ヶ迫 765 番地	097-503-5000 097-503-5888
	臼津	臼杵市医師会立コスモス病院	大分県臼杵市戸室 1131-1	0972-62-5599 0972-62-3928
南部	佐伯	長門記念病院	大分県佐伯市鶴岡町 1-11-59	0972-24-3000 0972-23-6640
豊肥	大野	社会医療法人 婦巖会みえ病院	大分県豊後大野市三重町赤峰 1250-1	0974-22-2222 0974-22-0222
	竹田	大久保病院	大分県竹田市久住町栢木 6026-2	0974-77-2341 0974-77-2247
西部	日田玖珠	大分県済生会日田病院	大分県日田市三和 643-7	0973-24-1100 0973-22-1269
北部	中津	川嵩整形外科病院	大分県中津市宮夫 17	0979-24-0464 0979-24-6258
	宇佐高田	佐藤第一病院	大分県宇佐市法鏡寺 77-1	0978-32-2110 0978-33-4918

2. 県内専門職能団体（拡大運営会議構成団体） 連絡先

（五十音順）

団体名	住所	TEL	FAX
(一社) 大分県医療ソーシャルワーカー協会	870-0307 大分市坂ノ市中央 1 丁目 269 番地 坂ノ市クリニック内	097-574-7722	097-574-7712
大分県栄養士会	870-0912 大分市原新町 9 番 2 号	097-556-8810	097-556-8921
大分県介護支援専門員協会	870-1133 大分市大字宮崎 1367-1 甲斐ビル 215 号	097-504-7500	097-504-7501
大分県介護福祉士会	870-0921 大分市萩原 4-8-58 大分県整骨会館 3F	097-551-6555	097-547-9936
大分県看護協会	870-0855 大分市豊饒 310-4	097-574-7117	
大分県言語聴覚士協会	870-0048 大分市碩田町 1-1-27 3 階	097-529-7105	097-529-8109
大分県作業療法協会	870-0038 大分市西春日町 3-2 大分県作業療法協会ビル	097-547-8662	097-547-8663
大分県歯科医師会	870-0819 大分市王子新町 6-1	097-545-3151	097-545-3155
大分県歯科衛生士会	870-0819 大分市王子新町 6-1 大分県歯科医師会館内	097-545-3203	097-545-3203
大分県視能訓練士会	879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘 1-1 大分大学医学部附属病院眼科医局内	097-586-5904	
大分県地域包括・総合相談・居宅介護支援センター協議会	870-0907 大分市大津町 2-1-41	097-558-0300	097-558-6001
大分県地域リハビリテーション医師懇話会	870-0862 大分市中尾 255	097-586-5522	097-586-5656
大分県地域リハビリテーション研究会	870-0945 大分市津守 888-6 諏訪の杜病院内	097-567-1277	097-567-3066
大分県病院協会	870-8563 大分市駄原 2892-1 大分県医師会館内 (5F)	097-540-5526	097-540-5597
大分県放射線技師会	870-0844 大分市大字古国府 1155 番地の 1 (㈱マイダスコミュニケーション内)	097-574-7625	097-574-7715
大分県薬剤師会	870-0855 大分市大字豊饒字光屋 441-1	097-544-4405	097-544-1051
大分県理学療法士協会	870-0127 大分市大字森町 501-3	097-547-7797	097-521-9077
大分県臨床検査技師会	876-0857 佐伯市常盤西 11-20	0972-22-0547	0972-22-0614
大分県臨床工学技士会	870-0844 大分市大字古国府 1155 番地の 1 (㈱マイダスコミュニケーション内)	097-544-7070	097-567-1612
大分県臨床心理士会	870-0023 大分市大字長浜町 1 丁目 7-3 サンライズ長浜 401 号室	0977-67-0101	

※介護保険サービス事業所の連絡先は県庁ホームページの「介護保険指定事業所一覧」から検索ください。

※地域包括支援センター一覧表は大分県庁ホームページより検索ください。

大分県庁ホームページ
www.pref.oita.jp

地域リハビリテーション 活動報告書(平成 29 年度版)

発行日 平成 30 年 7 月 1 日

発行責任者 大分県リハビリテーション支援センター
センター長 根橋 良雄

編集 事務部長 堀川 利美
県リハ運営部長 神田 真一
運営部事務長兼運営部長補佐 會川 裕子
支援連携室 吉村 修一

由布市湯布院町川南 252
JCHO 湯布院病院内
TEL 0977-84-3171
FAX 0977-85-5880

地域リハビリテーション活動報告書(平成29年度版)

発行日 平成30年7月1日

発行責任者 大分県リハビリテーション支援センター
センター長 ……………根橋 良雄

編集 事務部長 ……………堀川 利美
県リハ運営部長 ……………大隈 和喜
副運営部長 ……………神田 真一
運営部事務長兼運営部長補佐 ……會川 裕子
支援連携室 ……………吉村 修一

由布市湯布院町川南252 JCHO湯布院病院内
TEL:0977-84-3171 FAX:0977-85-5880